

胎内市定住意識アンケート調査

調査結果報告書（平成 30 年度）

（速報版）

胎内市 総合政策課

平成 30 年 9 月

目次

1 アンケートの概要.....	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査期間	1
(5) 集計方法	2
(6) 回答数	2
(7) 調査結果の見方.....	2
2. アンケート結果	3
(1) 集計結果（一般アンケート）	3
回答者の属性	3
① 年齢	3
② 性別	3
③ 居住地域	4
④ 家族構成	4
⑤ 職業	5
問1 現在の胎内市は暮らしやすいまちだと思うか.....	7
問2 胎内市の暮らしやすい点はどんなところか.....	9
問3 胎内市の暮らしにくい点はどんなところか.....	12
問4 これからも胎内市に住み続けたいと思うか.....	15
問5 胎内市は子どもの教育環境が良いと思うか.....	17
問6 胎内市は子育てしやすい環境が整っていると思うか.....	19
問7 胎内市が実施している子育て支援の取組を知っているか.....	21
問8 胎内市は高齢者になっても安心して暮らし続けることができる環境が整っている と思うか	23
問9 あなた（または子どもなどあなたの家族）は胎内市内で就職したい（してほしい） か	25
問10 買い物など日常生活に不便を感じているか.....	27
問11 どのような点で不便だと感じているか.....	29
問12 市政に関する情報発信方法を知っているか.....	31
問13 市政に関する情報提供をどのような形で行うのが良いと思うか.....	33
問14 市政全般に関する意見.....	36
(2) 集計結果（児童・生徒アンケート）	44
回答者の属性	44

① 区分	44
② 居住地域	44
問1 これからも胎内市に住み続けたいと思うか.....	45
問2 進学などで胎内市を離れても就職するタイミングなどで胎内市に戻ってきて住みたいと思うか	46
問3 将来やりたい（なりたい）職業は.....	47
問4 住んでいる地区の良いところは.....	48
問5 住んでいる地区の不安なところや困っているところは.....	49
問6 住みよくなるにはどのようになればよいか.....	50
問7 それを実現するためにどんなことをするか.....	50
(3) 集計結果（新成人アンケート）	51
回答者の属性	51
① 性別	51
② 出身地	51
③ 現在の状況	52
④ 現在の生活場所.....	52
問1 25歳の時、どこで生活することを考えているか.....	54
問2 胎内市は暮らしやすいまちだと思うか.....	57
問3 住む場所を選ぶ際に重視することは何か.....	60
問4 就職するに当たって最も重視する（した）ことは何か.....	61
問5 どのような業種に就きたいか（就いているか）	63
問6 どのようなツールを用いて情報を取得しているか.....	65
問7 胎内市が選ばれ続けるまちであるためにはどのような施策が必要だと思うか..	66
問8 胎内市で起業したいと思うか.....	68
問9 起業するにはどのような支援が必要だと思うか.....	68
問10 定住促進を目的とした補助を知っているか.....	69
問11 地元就職に関する情報を胎内市から受け取りたいか.....	69
3 資料	70
(1) 一般アンケート調査.....	70
(2) 児童・生徒アンケート調査.....	73
(3) 新成人アンケート調査.....	75

1 アンケートの概要

(1) 調査目的

人口減少が続く中、持続可能なまちであり続けるため、平成 27 年度に「胎内市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、それに基づいた人口減少対策を実施しており、施策に対する評価を確認して、より適切に取組を進めるためにアンケート調査を実施することにしました。

「一般アンケート」、「児童・生徒アンケート」、「新成人アンケート」の 3 区分で構成されています。

(2) 調査対象

● 一般アンケート

平成 30 年 7 月 1 日現在で、満 16 歳以上の胎内市民から無作為で抽出した 800 人

● 児童・生徒アンケート

市内の小学 6 年生 216 名及び中学 3 年生 234 名、合計 450 名

● 新成人アンケート

平成 30 年 8 月 15 日に開催した成人式に参加した 203 人

(3) 調査方法

● 一般アンケート

郵送調査：郵送により対象者へ調査票と返信用封筒を送付し、回答後、調査票を郵送により回収

● 児童・生徒アンケート

市内小学校・中学校を通じ、調査票への記入を依頼し回収

● 新成人アンケート

式当日、受付時に手渡す封筒に用紙と簡易筆記具を同封し、会場で記入してもらい、会場出入口で回収

(4) 調査期間

● 一般アンケート

調査票発送 平成 30 年 6 月 22 日 (金)

調査表返送期日 平成 30 年 7 月 13 日 (金)

調査票受付期限 平成 30 年 7 月 31 日 (火)

● 児童・生徒アンケート

調査票発送 平成 30 年 7 月 2 日 (月)

調査表返送期日 平成 30 年 7 月 24 日 (火)

● 新成人アンケート

平成 30 年 8 月 15 日（水）

（5） 集計方法

返送された調査票を、市で集計

（6） 回答数

	一般 アンケート	児童・生徒 アンケート	新成人 アンケート
発送数	800 件	450 件	203 件
有効発送数	799 件		201 件
回収数	330 件	430 件	128 件
有効回収数	328 件		
有効回収率	41.1%	95.6%	63.7%

（7） 調査結果の見方

- ・ 比率は全て百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が 100.0%にならないことがあります。
- ・ 1 人の回答者が複数回答する設問では「複数回答」と表示しています。この場合、その比率の合計は 100.0%を上回る場合があります。

2. アンケート結果

(1) 集計結果（一般アンケート）

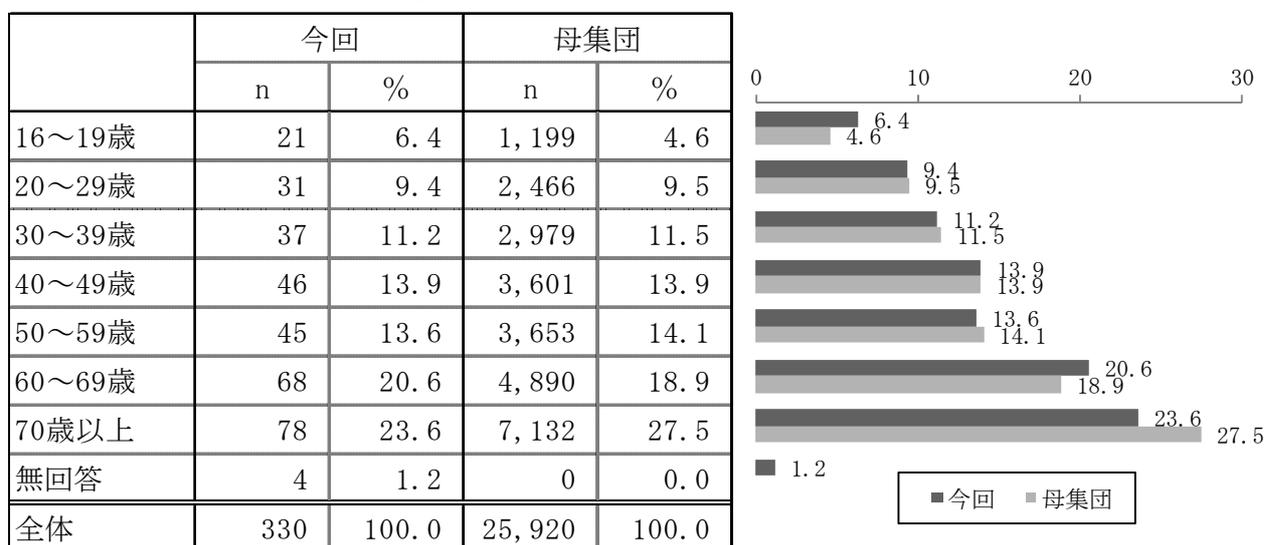
回答者の属性

① 年齢

「20代」から「50代」ではおおむね人口構成比と一致する割合である。

ただし、「10代」及び「60代」では実際の人口構成比よりも回答者の割合が多く、「70歳以上」では、人口構成比を下回る割合となった。

【図表 1-1 回答者の年齢】

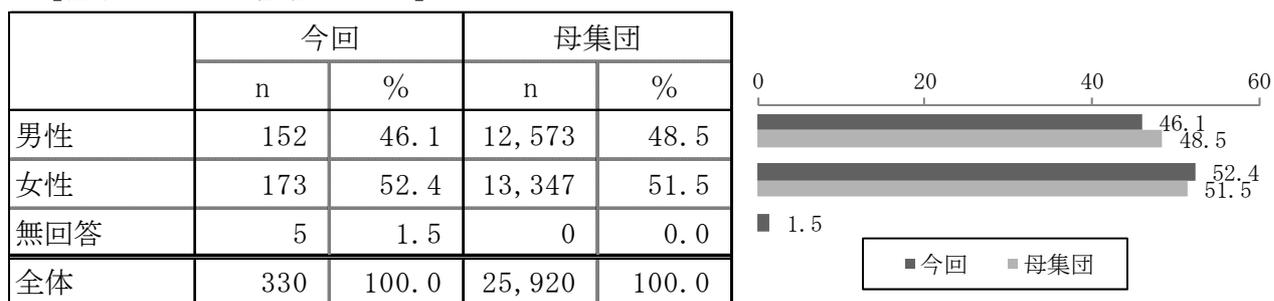


※母集団：平成30年（2018年）5月31日現在の住民基本台帳より（以下同様）

② 性別

回答者の男女比は、女性が52.4%で男性を上回っている。実際の人口構成比と比較しても、女性の回答割合がより多い結果となった。

【図表 1-2 回答者の性別】

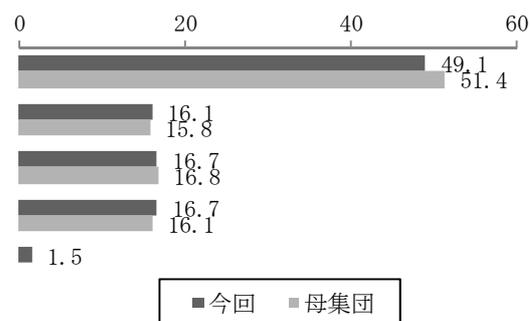


③ 居住地

各地区において、おおむね人口構成比に近い回答者割合となっている。ただし、中条地区の割合は2.3ポイント低い結果となった。

【図表 1-3 回答者の居住地】

	今回		母集団	
	n	%	n	%
中条地区	162	49.1	13,317	51.4
乙地区	53	16.1	4,085	15.8
築地地区	55	16.7	4,349	16.8
黒川地区	55	16.7	4,169	16.1
無回答	5	1.5	0	0.0
全体	330	100.0	25,920	100.0

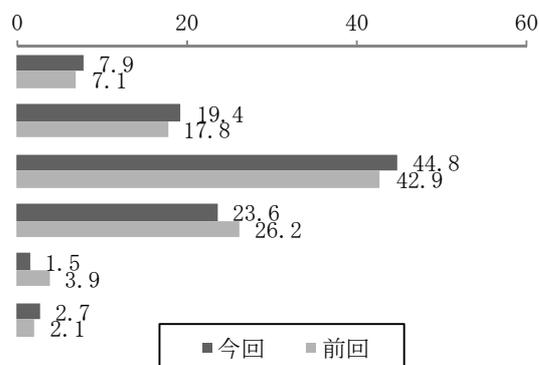


④ 家族構成

「三世同居」の割合が減少している中で、「単身」、「夫婦のみ」及び「二世同居」の割合が高い結果となった。

【図表 1-4 回答者の家族構成】

	今回		前回	
	n	%	n	%
単身	26	7.9	53	7.1
夫婦のみ	64	19.4	134	17.8
二世同居	148	44.8	322	42.9
三世同居	78	23.6	197	26.2
その他	5	1.5	29	3.9
無回答	9	2.7	16	2.1
全体	330	100.0	751	100.0



※前回：平成27年（2015年）12月に実施した総合計画策定に向けたアンケート調査結果より（以下同様）

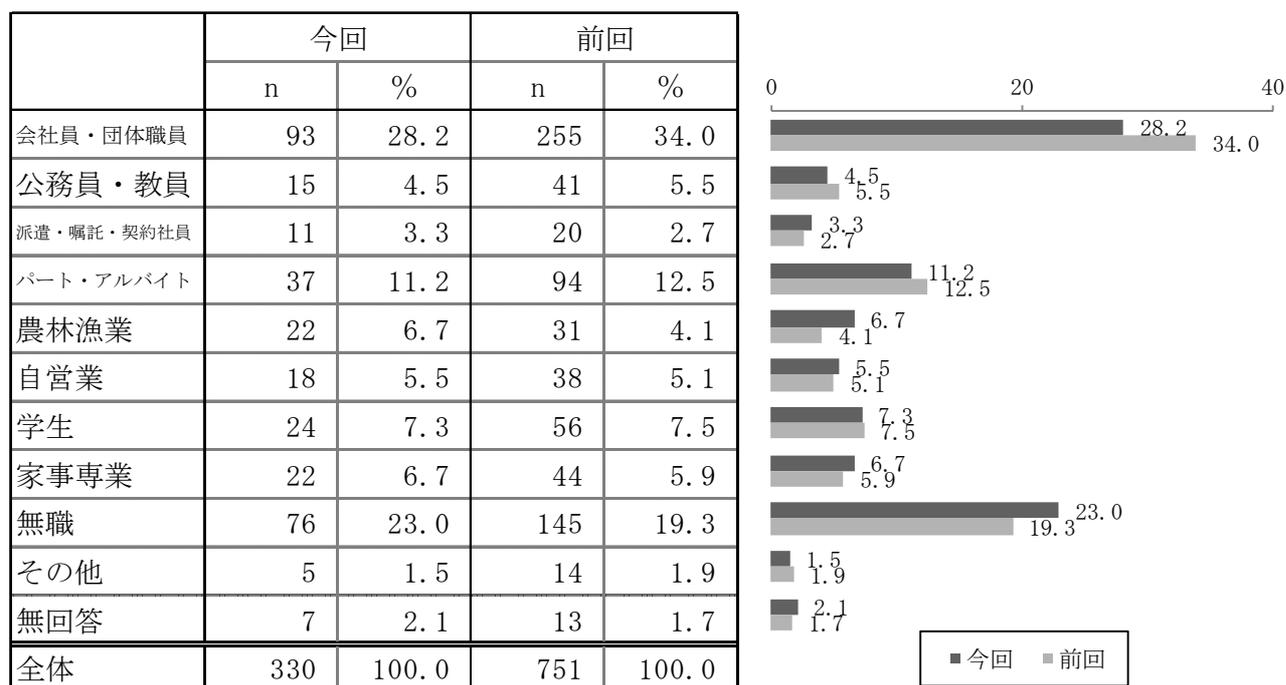
⑤ 職業

「会社員・団体職員」の割合が5.8ポイント低下している中で、「無職」の割合が3.7ポイント上昇し2割を超える結果となった。

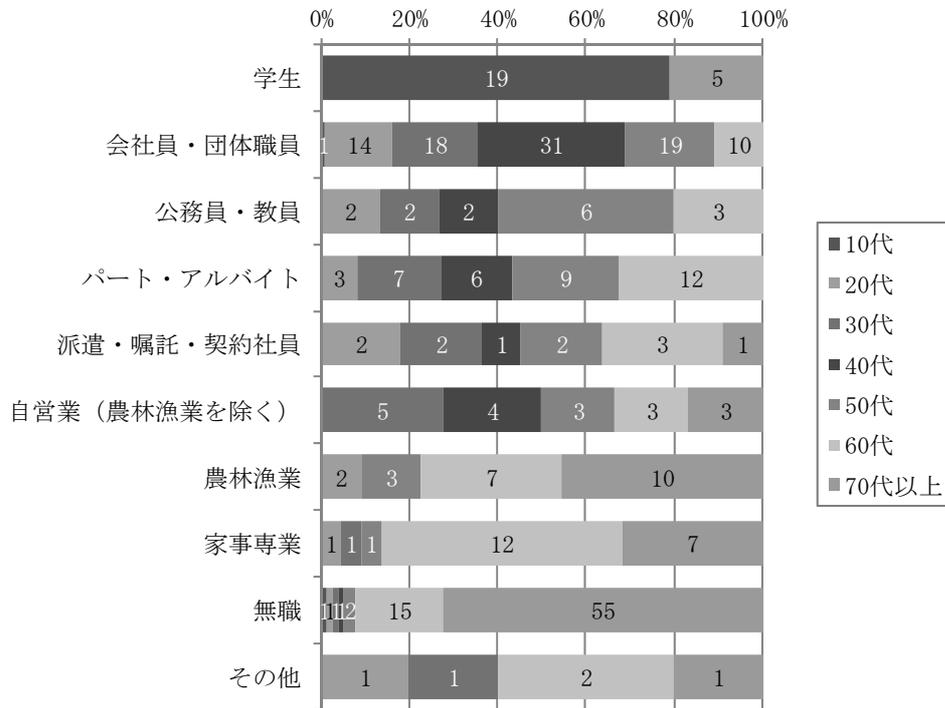
「農林漁業」従事者の多くが、60代以上である。

また、就業者の半数が胎内市内で勤務しており、前回と比較すると「新発田市」での勤務者が4.6ポイント上昇している。なお、そのほか、近隣市町への通勤割合は減少している。

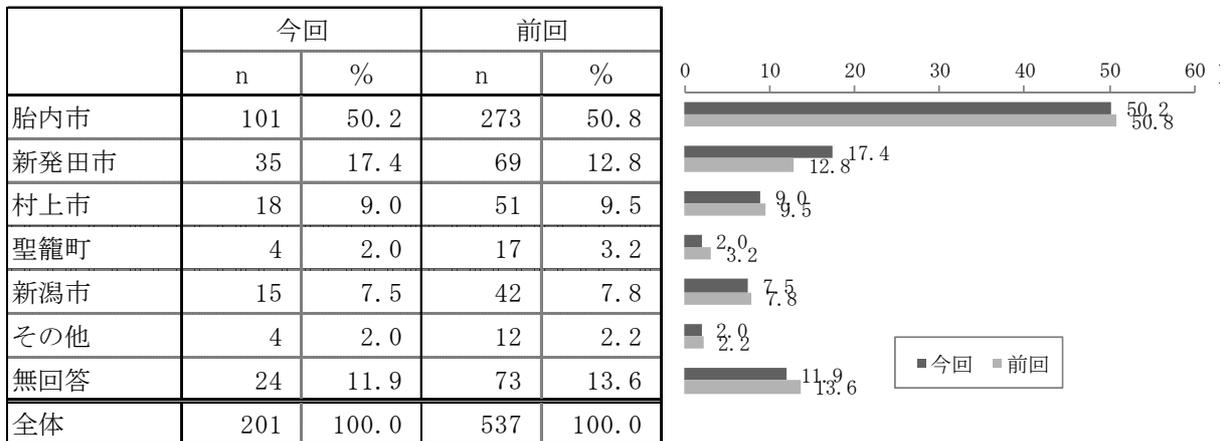
【図表 1-5 回答者の職業】



【図表 1-6 回答者の年代別職業】



【図表 1-7 回答者の勤務地】



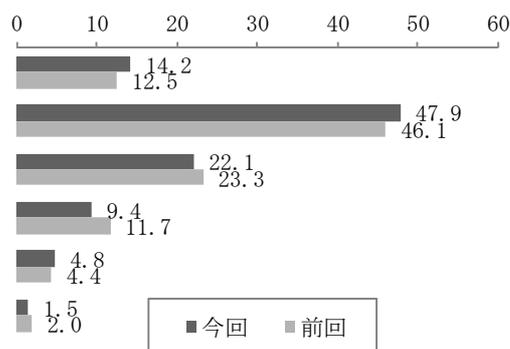
問1 現在の胎内市は暮らしやすいまちだと思うか

◆ 6割強が現在の胎内市は暮らしやすいまちだと回答。肯定的に捉える割合が前回と比較し、わずかに上昇。

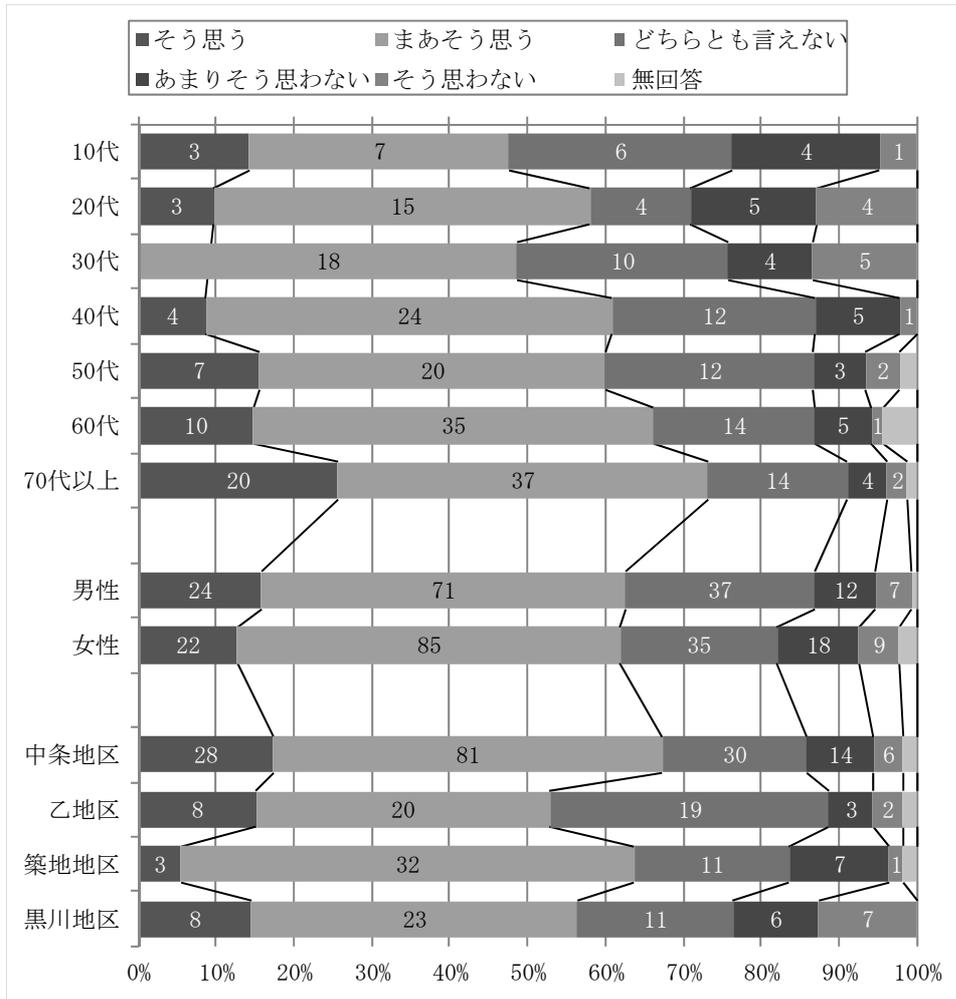
- ・「そう思う」14.2%、「まあそう思う」47.9%と、合計62.1%が暮らしやすいまちだと回答。前回調査と比較し3.5ポイント構成率が上昇した。
- ・「そう思わない」は、4.8%と構成割合が0.4ポイント上昇した。
- ・「10代」及び「30代」では、暮らしやすいと感じる人の割合が他の年代と比較し10ポイントほど低く5割ほどになっており、年代により暮らしやすさの感じ方に差がある。
- ・「乙地区」及び「黒川地区」では、暮らしやすいと感じる人の割合が他の地区と比較し低くなっており、居住地域により暮らしやすさの感じ方に差がある。

【図表 1-8 暮らしやすさの認識】

	今回		前回	
	n	%	n	%
そう思う	47	14.2	94	12.5
まあそう思う	158	47.9	346	46.1
どちらとも言えない	73	22.1	175	23.3
あまりそう思わない	31	9.4	88	11.7
そう思わない	16	4.8	33	4.4
無回答	5	1.5	15	2.0
全体	330	100.0	751	100.0



【図表 1-9 項目別暮らしやすさの認識】

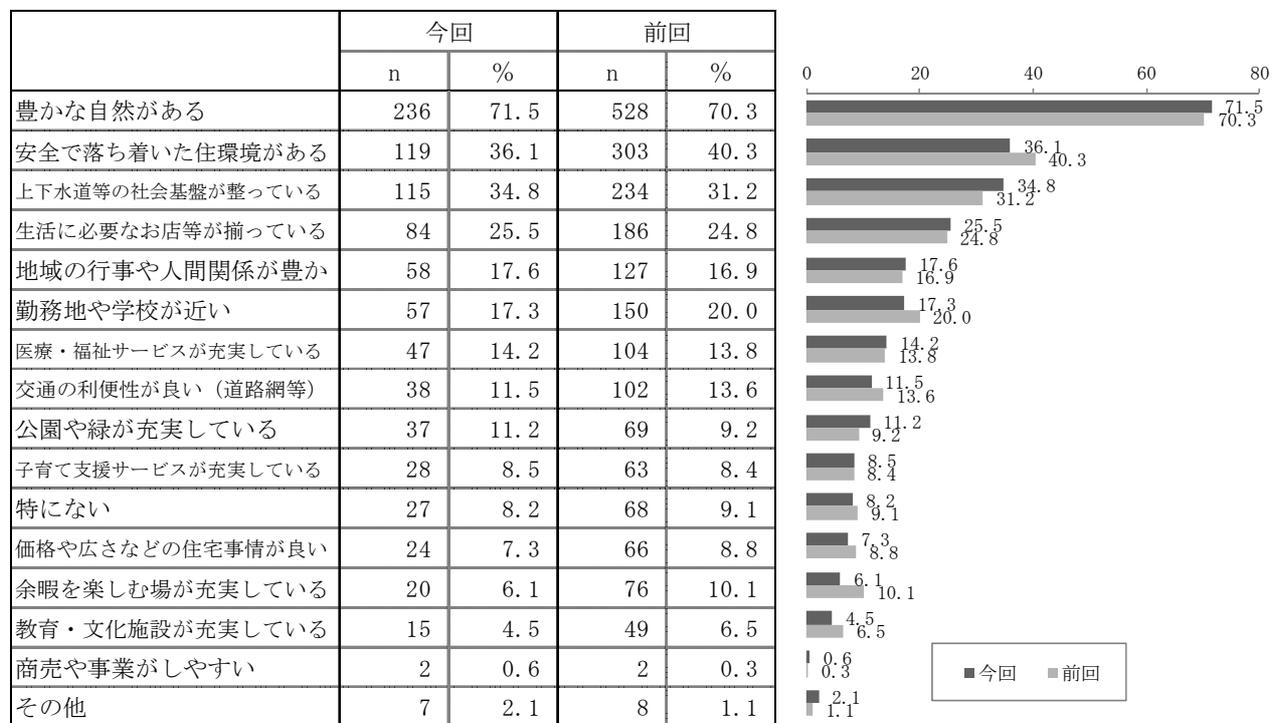


問2 胎内市の暮らしやすい点はどんなところか

◆ 「自然の豊かさ」がダントツの第一位。そのほか「上下水道等インフラの整った安全で落ち着いた住環境」が魅力となっている。

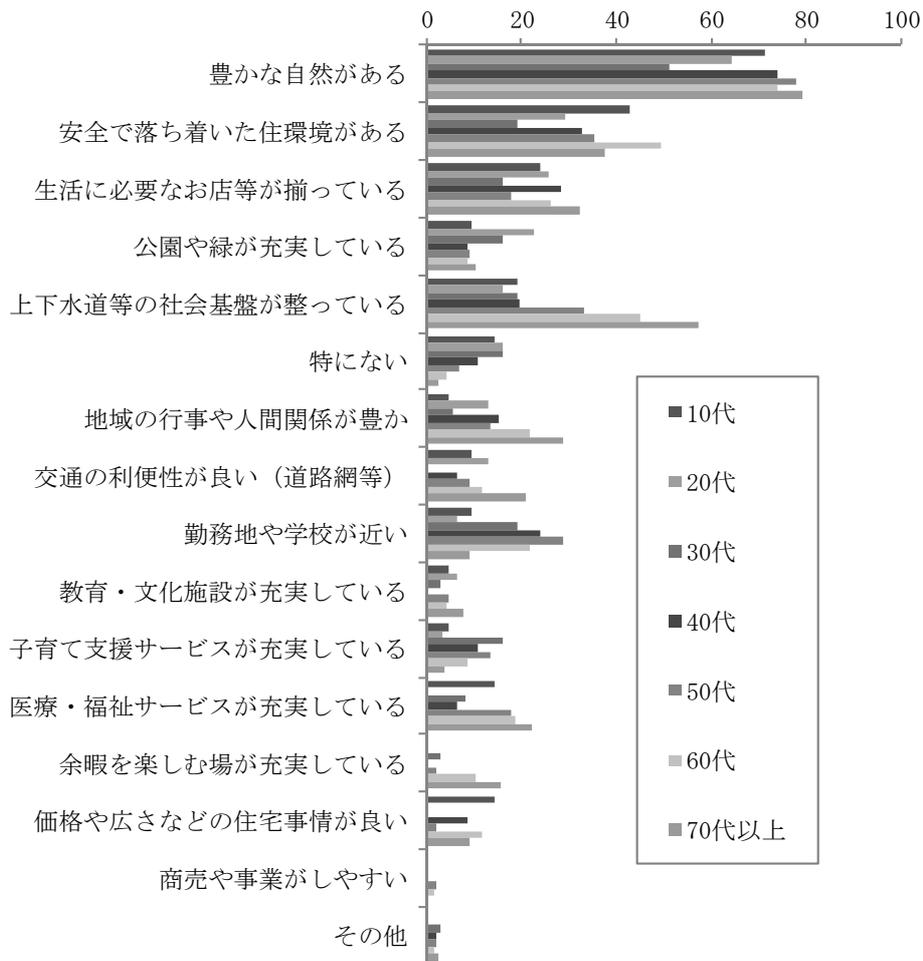
- ・「豊かな自然がある」が71.5%と最も多く選ばれており、「安全で落ち着いた住環境がある」36.1%、「上下水道等の社会基盤が整っている」34.8%と続いている。なお、前回と比較し上位4項目の順位に変動はない。
- ・「社会基盤が整っている」を始め8項目で構成割合が上昇している一方で、7項目が減少している。特に「安全で落ち着いた住環境」が低下している。
- ・市民が思う胎内市の暮らしやすさのポイントは、「豊かな自然があり、上下水道等のインフラが整った安全で落ち着いた住環境」ということができる。

【図表 1-10 暮らしやすい点（複数回答）】



【図表 1-11 年代別暮らしやすい点（複数回答）】

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
豊かな自然がある	15	71.4	20	64.5	19	51.4	34	73.9	35	77.8	51	73.9	61	79.2
安全で落ち着いた住環境がある	9	42.9	9	29.0	7	18.9	15	32.6	16	35.6	34	49.3	29	37.7
生活に必要なお店等が揃っている	5	23.8	8	25.8	6	16.2	13	28.3	8	17.8	18	26.1	25	32.5
公園や緑が充実している	2	9.5	7	22.6	6	16.2	4	8.7	4	8.9	6	8.7	8	10.4
上下水道等の社会基盤が整っている	4	19.0	5	16.1	7	18.9	9	19.6	15	33.3	31	44.9	44	57.1
特にない	3	14.3	5	16.1	6	16.2	5	10.9	3	6.7	3	4.3	2	2.6
地域の行事や人間関係が豊か	1	4.8	4	12.9	2	5.4	7	15.2	6	13.3	15	21.7	22	28.6
交通の利便性が良い（道路網等）	2	9.5	4	12.9	0	0.0	3	6.5	4	8.9	8	11.6	16	20.8
勤務地や学校が近い	2	9.5	2	6.5	7	18.9	11	23.9	13	28.9	15	21.7	7	9.1
教育・文化施設が充実している	1	4.8	2	6.5	1	2.7	0	0.0	2	4.4	3	4.3	6	7.8
子育て支援サービスが充実している	1	4.8	1	3.2	6	16.2	5	10.9	6	13.3	6	8.7	3	3.9
医療・福祉サービスが充実している	3	14.3	0	0.0	3	8.1	3	6.5	8	17.8	13	18.8	17	22.1
余暇を楽しむ場が充実している	0	0.0	0	0.0	1	2.7	0	0.0	1	2.2	7	10.1	12	15.6
価格や広さなどの住宅事情が良い	3	14.3	0	0.0	0	0.0	4	8.7	1	2.2	8	11.6	7	9.1
商売や事業がしやすい	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	2.2	1	1.4	0	0.0
その他	0	0.0	0	0.0	1	2.7	1	2.2	1	2.2	1	1.4	2	2.6



【胎内市の暮らしやすいところ（自由記述）】（n=6）

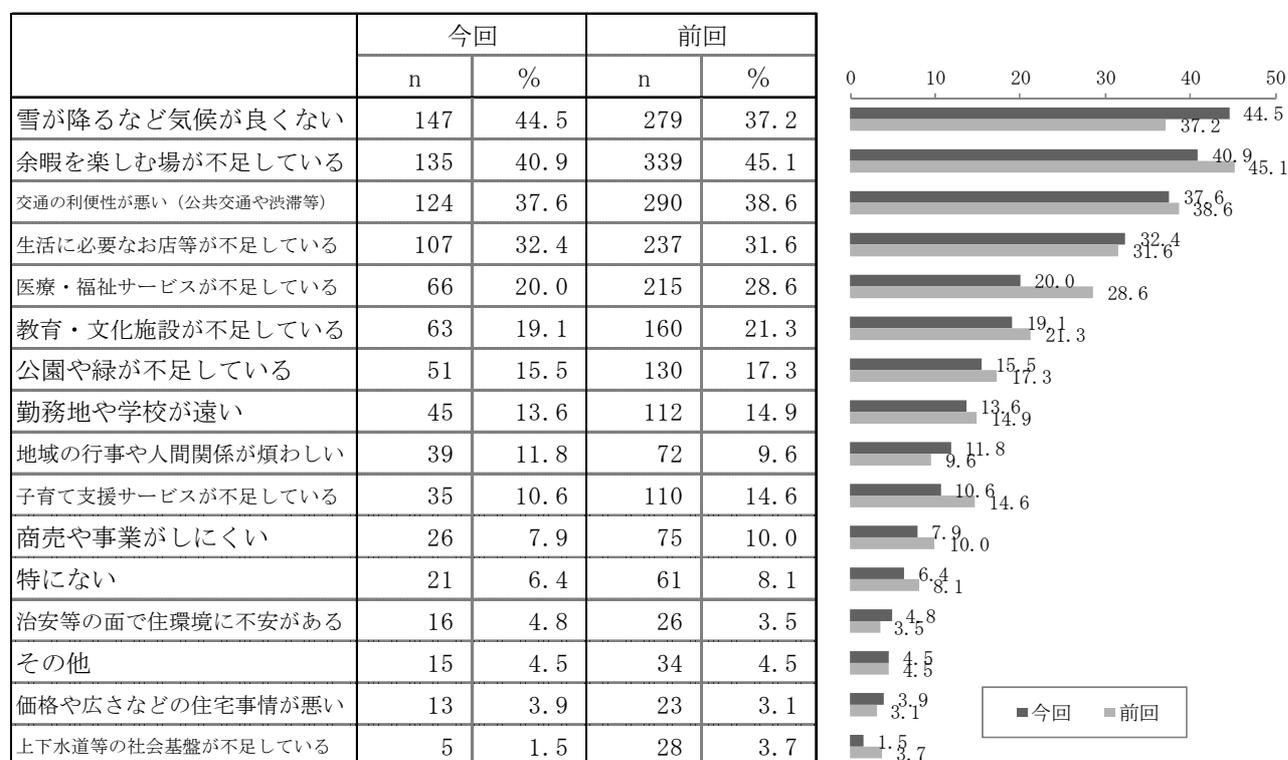
- ・ 0～18 歳までの医療費が安い。（黒川地区・40 代・女性）
- ・ スーパーが多い。（乙地区・20 代・女性）
- ・ デマンドタクシーの充実、長く続けてください。（中条地区・70 代以上・女性）
- ・ 車の渋滞が少ない。（築地地区・40 代・男性）
- ・ 地震など大災害が少ない。（築地地区・50 代・女性）
- ・ 生まれ育ったところだから。（中条地区・60 代・男性）

問3 胎内市の暮らしにくい点はどこか

◆ 「雪が降るなど気候が良くない」が第一位。構成割合が大きく変動した項目もある。

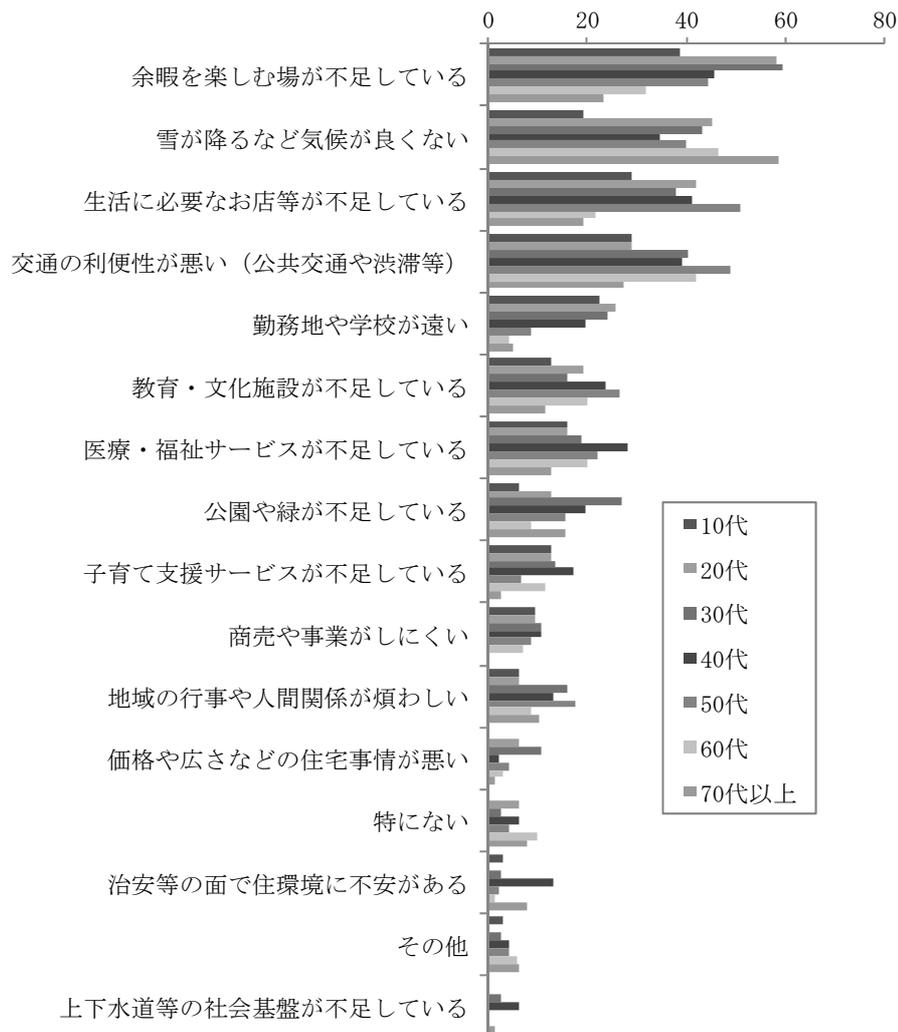
- ・「豊かな自然がある」が暮らしやすい点として選ばれている一方で、「気候が良くない」が44.5%と最も多く選ばれている。
- ・次いで「余暇を楽しむ場が不足」40.9%、「交通の利便性が悪い」37.6%、「生活に必要なお店等が不足」32.4%と続いている。
- ・「医療・福祉サービスが不足」8.6ポイントを始め10項目で構成割合が低下している一方で、5項目が上昇している。特に「気候が良くない」は7.3ポイント上昇している。

【図表 1-12 暮らしにくい点（複数回答）】



【図表 1-13 年代別暮らしにくい点（複数回答）】

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
余暇を楽しむ場が不足している	12	38.7	18	58.1	22	59.5	21	45.7	20	44.4	22	31.9	18	23.4
雪が降るなど気候が良くない	6	19.4	14	45.2	16	43.2	16	34.8	18	40.0	32	46.4	45	58.4
生活に必要なお店等が不足している	9	29.0	13	41.9	14	37.8	19	41.3	23	51.1	15	21.7	15	19.5
交通の利便性が悪い（公共交通や渋滞等）	9	29.0	9	29.0	15	40.5	18	39.1	22	48.9	29	42.0	21	27.3
勤務地や学校が遠い	7	22.6	8	25.8	9	24.3	9	19.6	4	8.9	3	4.3	4	5.2
教育・文化施設が不足している	4	12.9	6	19.4	6	16.2	11	23.9	12	26.7	14	20.3	9	11.7
医療・福祉サービスが不足している	5	16.1	5	16.1	7	18.9	13	28.3	10	22.2	14	20.3	10	13.0
公園や緑が不足している	2	6.5	4	12.9	10	27.0	9	19.6	7	15.6	6	8.7	12	15.6
子育て支援サービスが不足している	4	12.9	4	12.9	5	13.5	8	17.4	3	6.7	8	11.6	2	2.6
商売や事業がしにくい	3	9.7	3	9.7	4	10.8	5	10.9	4	8.9	5	7.2	0	0.0
地域の行事や人間関係が煩わしい	2	6.5	2	6.5	6	16.2	6	13.0	8	17.8	6	8.7	8	10.4
価格や広さなどの住宅事情が悪い	0	0.0	2	6.5	4	10.8	1	2.2	2	4.4	2	2.9	1	1.3
特にない	0	0.0	2	6.5	1	2.7	3	6.5	2	4.4	7	10.1	6	7.8
治安等の面で住環境に不安がある	1	3.2	0	0.0	1	2.7	6	13.0	1	2.2	1	1.4	6	7.8
その他	1	3.2	0	0.0	1	2.7	2	4.3	2	4.4	4	5.8	5	6.5
上下水道等の社会基盤が不足している	0	0.0	0	0.0	1	2.7	3	6.5	0	0.0	0	0.0	1	1.3



【胎内市の暮らしにくいところ（自由記述）】（n=18）

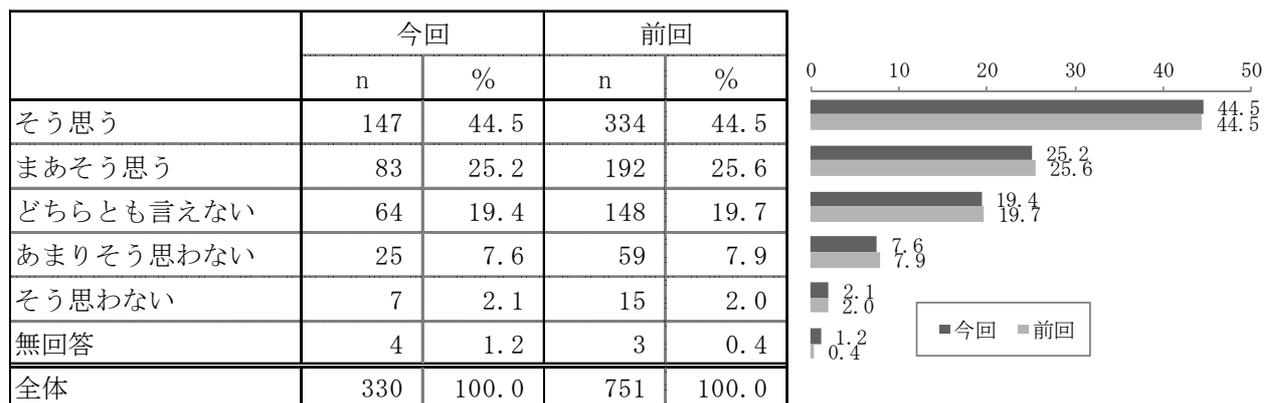
- ・図書館が広くてプライバシーが守られるとよい。（中条地区・70代以上・女性）
- ・多機能な目的をもつ公民館等があると良い。学生（次世代の文化を担う人々なので）やお年寄りが集う場。（中条地区・50代・女性）
- ・子どもが野球やサッカーをして遊ぶ公園がない。（中条地区・50代・女性）
- ・産科、小児専門の病院がないのが不便。（乙地区・30代・女性）
- ・医療・福祉のサービス量は不足していないが、自分が望む質に達していない。（築地地区・60代・女性）
- ・換気ができないくらい外が臭い。（築地地区・10代・女性）
- ・高速道路が出来てから高架下から吹く風が強くなり、冬になると、今年は特に-7℃にまでなり、給湯器が凍結してしまった。（中条地区・40代・女性）
- ・他の市町村に比べて、水道代が高い。（無回答・40代・女性）
- ・道路整備が今一つ良くない。（黒川地区・70代・男性）
- ・降雪時、道路除雪が非常に悪い。（乙地区・50代・男性）
- ・除雪が悪い。（乙地区・60代・男性）
- ・除雪車が空けた所に雪を入れていく。消雪パイプがない。（中条地区・70代以上・男性）
- ・高齢化による買物が車離れとなり、デマンドバスの充実化が必要。（中条地区・60代・男性）
- ・町まで遠くて用事、買物に不自由です。（築地地区・70代以上・女性）
- ・買い物に行くのに遠い。（黒川地区・70代以上・女性）
- ・新潟市までの距離。（築地地区・40代・男性）
- ・消防が遠い。（黒川地区・60代・男性）
- ・この様な質問は良くないと思います。権利だけを求め義務を果たさない人が増えると思います。（中条地区・40代・男性）

問4 これからも胎内市に住み続けたいと思うか

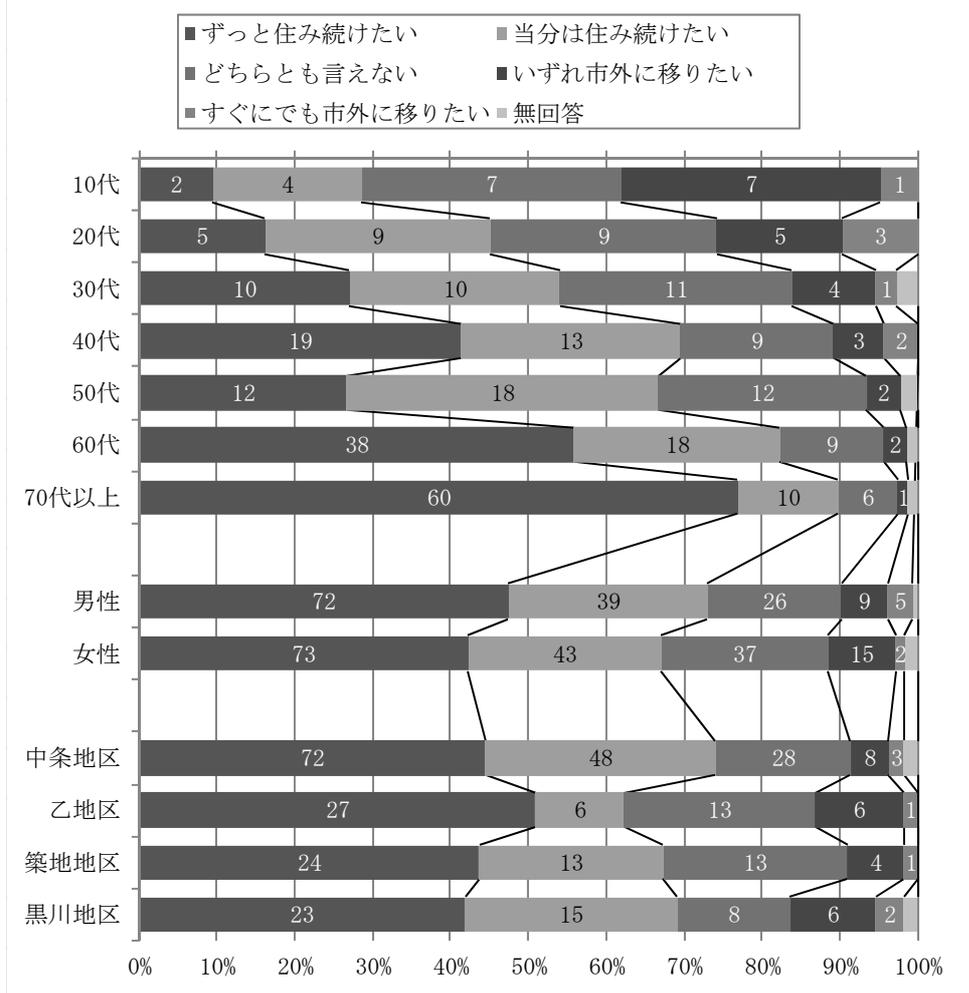
◆ 7割が住み続ける意思あり。肯定的に捉える割合は前回とほぼ変わらず。

- ・「ずっと住み続けたい」44.5%、「当分は住み続けたい」25.2%と、合計69.7%が住み続けたいと回答。前回調査と比較し0.4ポイント低下し7割を切る結果になったが、構成割合はほぼ同じ。
- ・若年層ほど「市外に移りたい」と思う割合が高くなっている。特に「10代」では、4人にひとりが市外に移りたいという意向を持っている。
- ・市外に移りたい意向のある層が暮らしにくいと感じているポイントを満たすことも方策の一つとして考えられるが、都市的な娯楽を市内で賄うことは実現困難であることから、今後も住み続けたいと思う割合が7割に至る手前の層（20代後半から30代）のUターン希望者等を獲得する方が現実的かと思われる。

【図表 1-14 住み続ける意向】



【図表 1-15 項目別住み続ける意向】



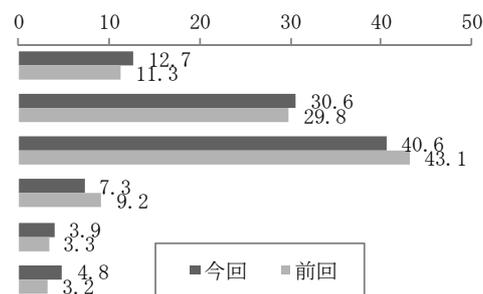
問5 胎内市は子どもの教育環境が良いと思うか

◆ 4割が子どもの教育環境が良いと回答。肯定的に捉える割合が前回と比較し上昇。

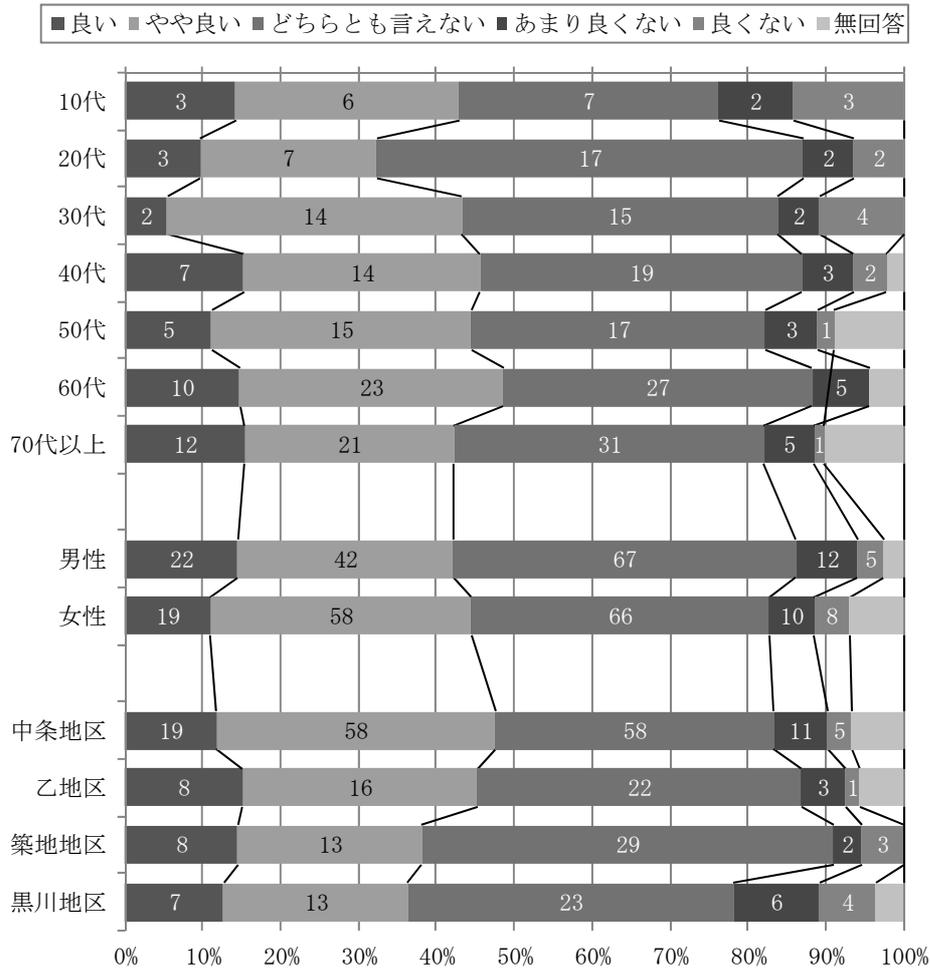
・「そう思う」12.7%、「まあそう思う」30.6%と、合計43.3%が子どもの教育環境が良いと回答。前回調査と比較し2.2ポイント上昇した一方で、「そう思わない」も0.6ポイント上昇している。

【図表 1-16 子どもの教育環境に対する意向】

	今回		前回	
	n	%	n	%
そう思う	42	12.7	85	11.3
まあそう思う	101	30.6	224	29.8
どちらとも言えない	134	40.6	324	43.1
あまりそう思わない	24	7.3	69	9.2
そう思わない	13	3.9	25	3.3
無回答	16	4.8	24	3.2
全体	330	100.0	751	100.0



【図表 1-17 項目別子どもの教育環境に対する意向】



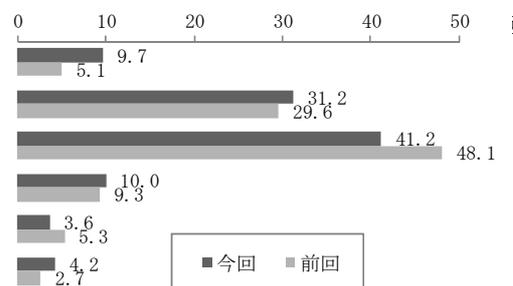
問6 胎内市は子育てしやすい環境が整っていると思うか

◆ 4割が子育てしやすい環境が整っていると回答。肯定的に捉える割合が前回と比較し6.2ポイント上昇。

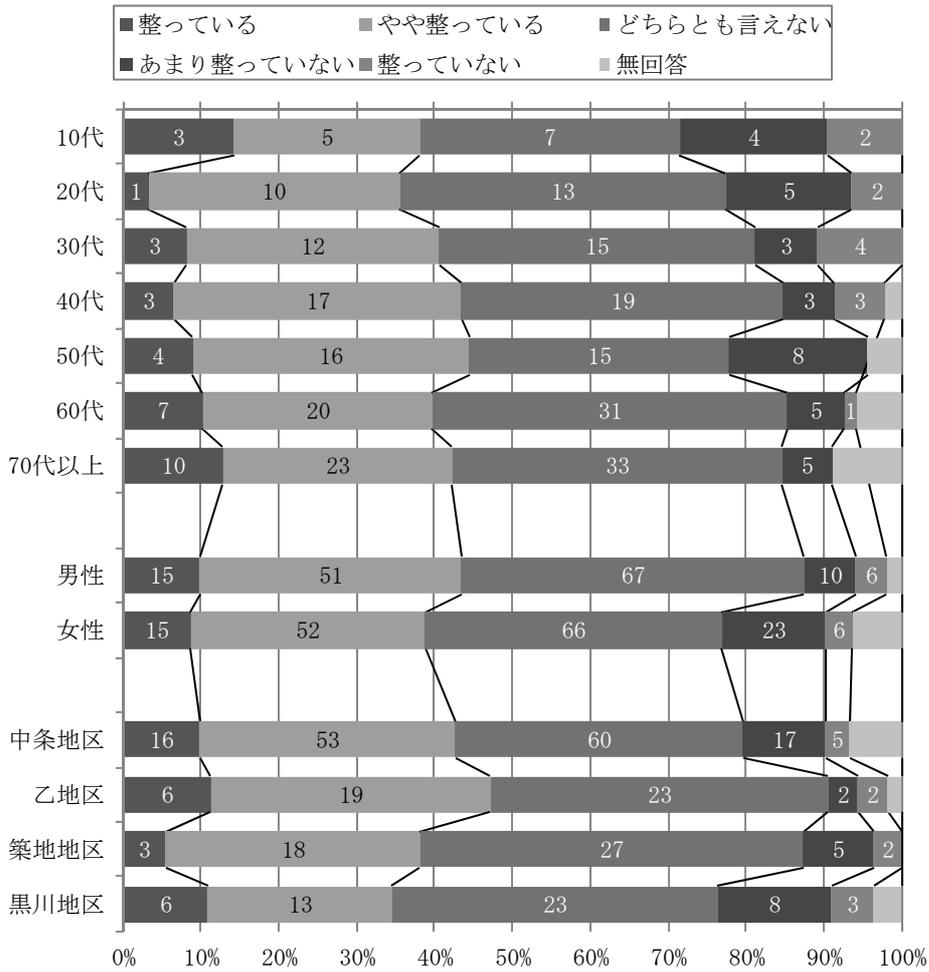
・「そう思う」9.7%、「まあそう思う」31.2%と、合計40.9%が子どもの教育環境が良いと回答。前回調査と比較し6.2ポイント上昇した一方で、「あまりそう思わない」が0.7ポイント上昇している。

【図表 1-18 子育てしやすい環境に関する意向】

	今回		前回	
	n	%	n	%
そう思う	32	9.7	38	5.1
まあそう思う	103	31.2	222	29.6
どちらとも言えない	136	41.2	361	48.1
あまりそう思わない	33	10.0	70	9.3
そう思わない	12	3.6	40	5.3
無回答	14	4.2	20	2.7
全体	330	100.0	751	100.0



【図表 1-19 項目別子育てしやすい環境に関する意向】



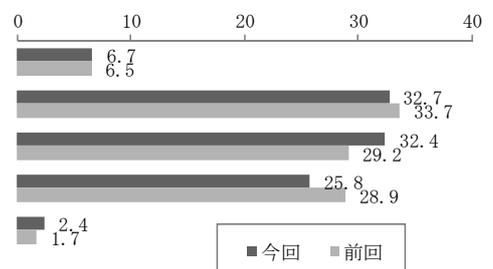
問7 胎内市が実施している子育て支援の取組を知っているか

◆ 4分の1が「全く知らない」と回答。前回と比較し、子育て支援策を知らない人の割合は低下。

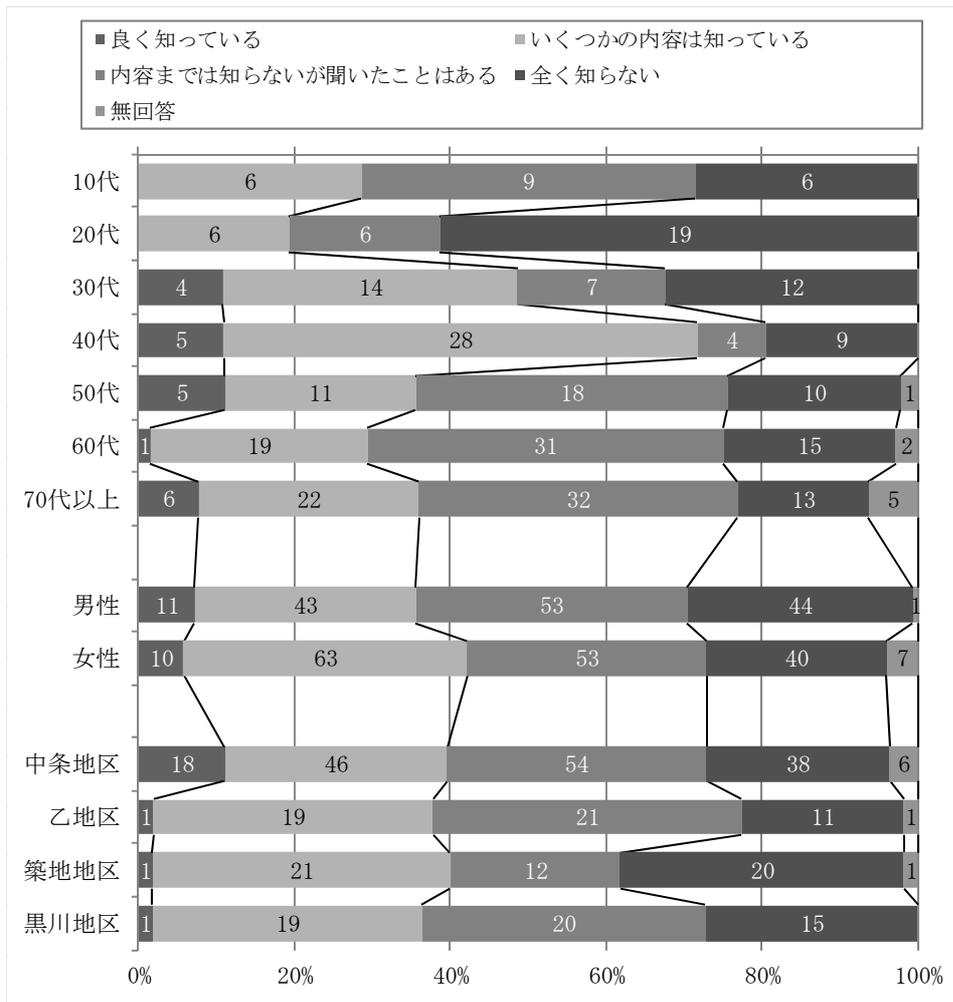
- ・「良く知っている」6.7%、「いくつかの内容は知っている」32.7%、「内容までは知らないが聞いたことはある」32.4%と、合計71.8%が子育て支援の取組を知っていると回答。前回調査と比較し2.4ポイント上昇。
- ・20代の認知率は38.8%と各年代の中で最も悪い。

【図表 1-20 子育て支援策の認知度】

	今回		前回	
	n	%	n	%
良く知っている	22	6.7	49	6.5
いくつかの内容は知っている	108	32.7	253	33.7
内容までは知らないが聞いたことはある	107	32.4	219	29.2
全く知らない	85	25.8	217	28.9
無回答	8	2.4	13	1.7
全体	330	100.0	751	100.0



【図表 1-21 項目別子育て支援策の認知度】



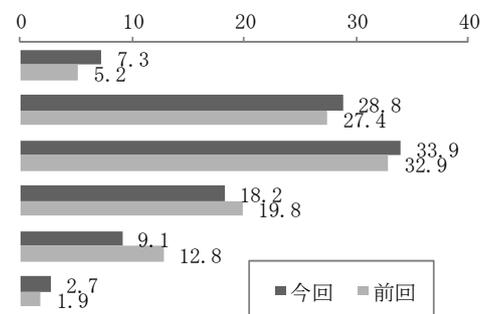
問8 胎内市は高齢者になっても安心して暮らし続けることができる環境が整っていると思うか

◆ 4割弱が高齢者になっても安心して暮らし続けることができる環境が整っていると回答。肯定的に捉える割合が前回と比較しわずかに上昇。

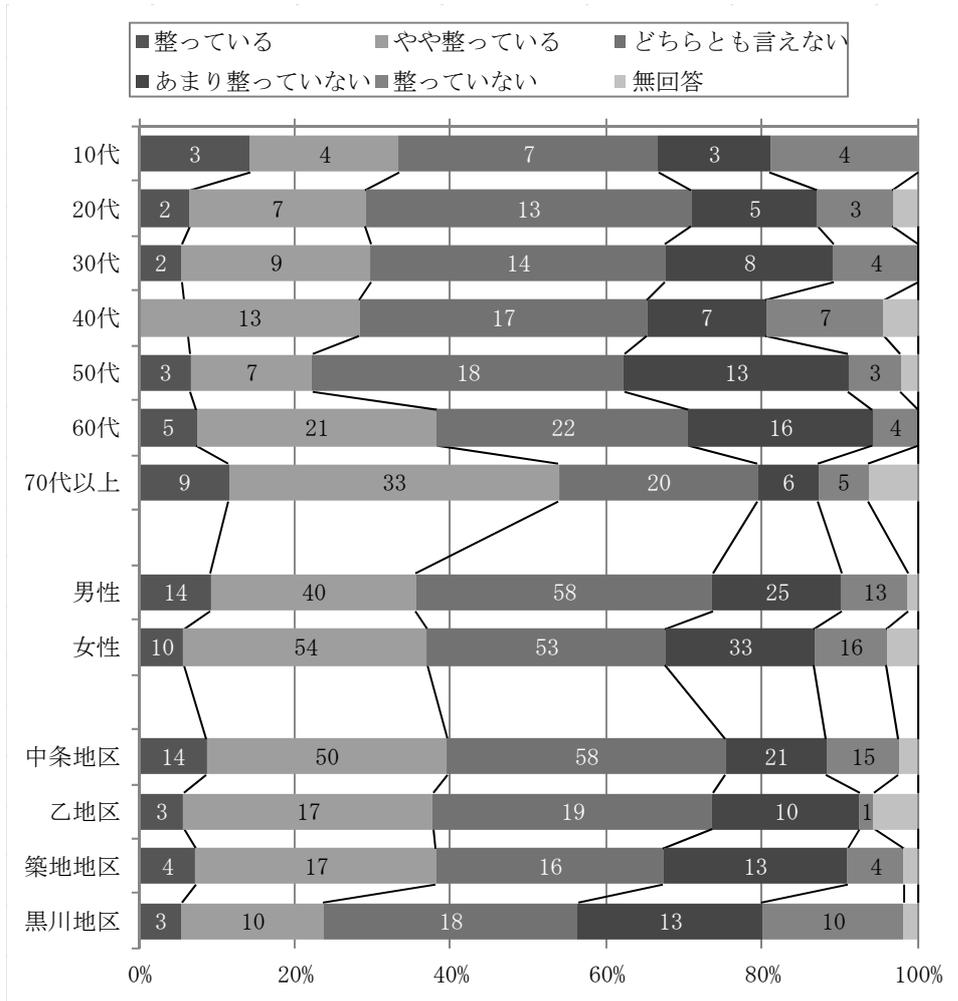
・「整っている」7.3%、「やや整っている」28.8%と、合計 36.1%が高齢者になっても安心して暮らし続けることができる環境が整っていると回答。前回調査と比較し 3.5ポイント上昇。

【図表 1-22 安心して暮らし続けることへの意向】

	今回		前回	
	n	%	n	%
整っている	24	7.3	39	5.2
やや整っている	95	28.8	206	27.4
どちらとも言えない	112	33.9	247	32.9
あまり整っていない	60	18.2	149	19.8
整っていない	30	9.1	96	12.8
無回答	9	2.7	14	1.9
全体	330	100.0	751	100.0



【図表 1-23 項目別安心して暮らし続けることへの意向】



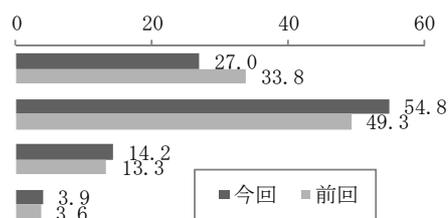
問9 あなた（または子どもなどあなたの家族）は胎内市内で就職したい（してほしい）か

◆ 3割弱が市内で就職したい（してほしい）と回答。肯定的に捉える割合が6.8ポイント低下。

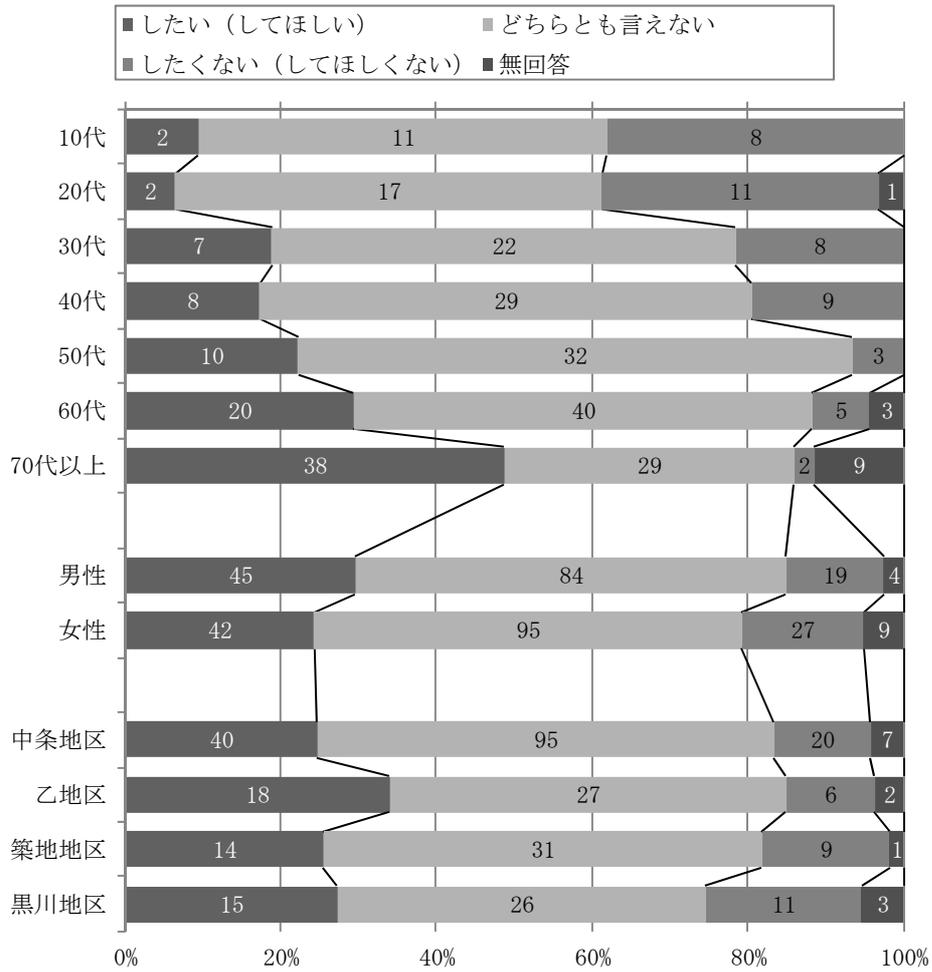
- ・「市内で就職したい（してほしい）」が27%と前回と比較して6.8ポイント低下している。市外に職を求める理由は不明だが、後述の成人式において実施したアンケート調査では、「医療・介護」の業種に就きたい（就いている）とする人が多くいることから、市内でも就業できる環境があることを周知していくことが求められる。
- ・「どちらとも言えない」が54.8%と前回と比較して5.5ポイント上昇。「したくない」も前回と比較して0.9ポイント上昇している。

【図表 1-23 市内での就職の意向】

	今回		前回	
	n	%	n	%
したい	89	27.0	254	33.8
どちらとも言えない	181	54.8	370	49.3
したくない	47	14.2	100	13.3
無回答	13	3.9	27	3.6
全体	330	100.0	751	100.0



【図表 1-24 項目別市内での就職の意向】

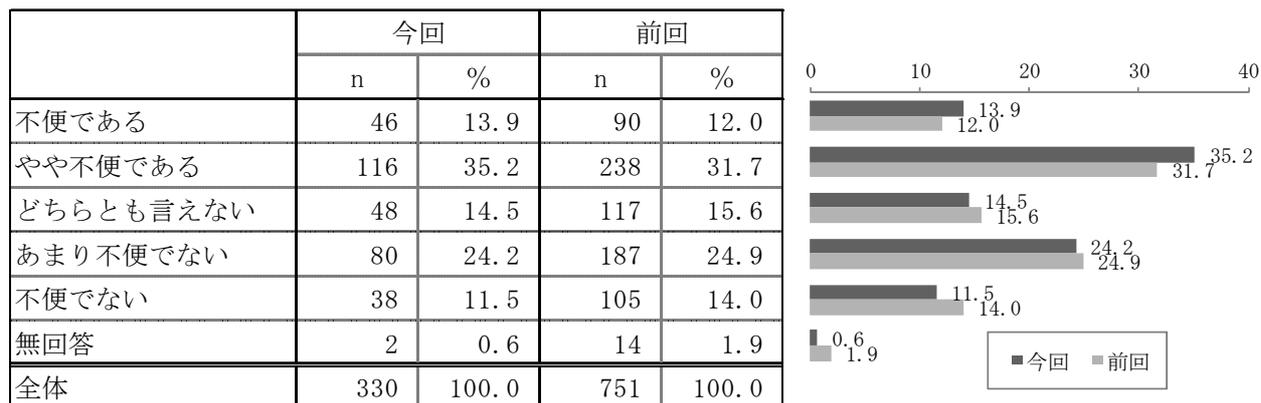


問10 買い物など日常生活に不便を感じているか

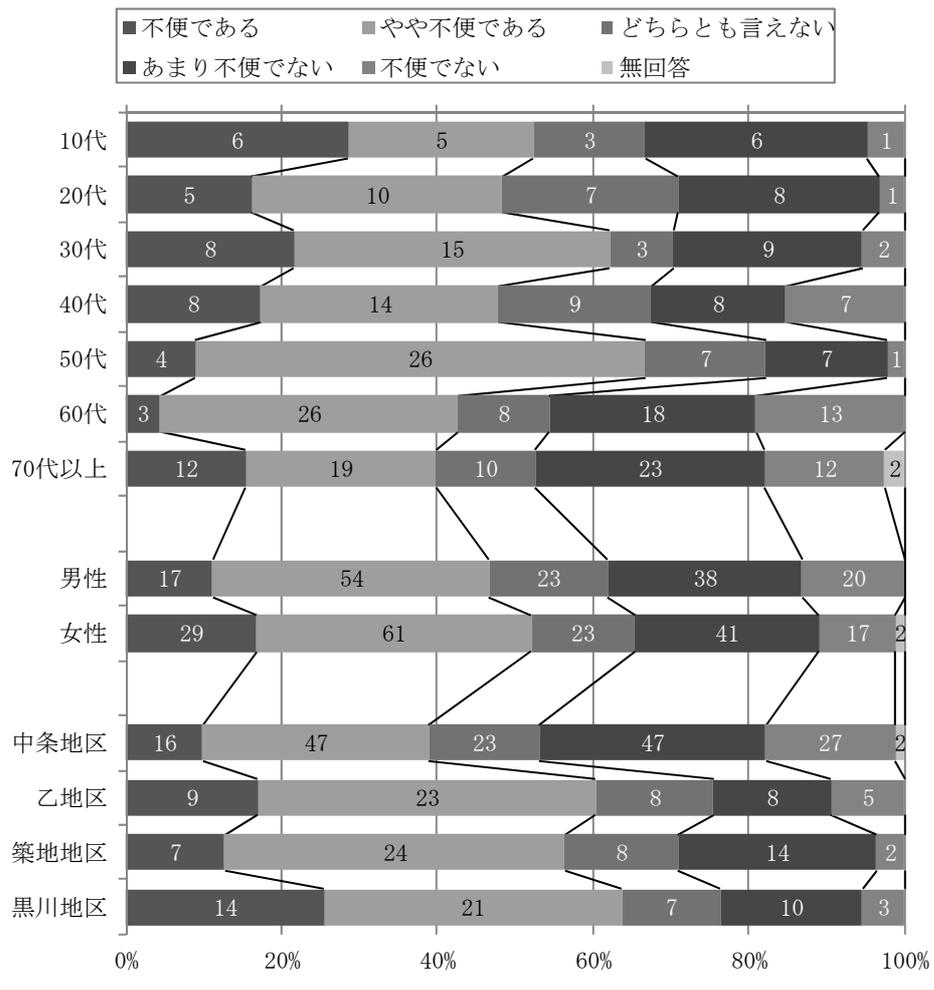
◆ 約半数が日常生活に不便と回答。肯定的に捉える割合が前回と比較し3.2ポイント低下。

- ・「不便である」13.9%、「やや不便である」35.2%と合計49.1%の人が不便さを感じている。
- ・「不便でない」11.5%、「あまり不便でない」24.2%と、不便さを感じていない人は35.7%となっている。
- ・前回調査と比較すると、不便さを感じている人の割合が5.4ポイント上昇しており、不便さを感じない人の割合は3.2ポイント低下している。
- ・大型店舗等が立地している中条地区においては、他の地区に比べて不便さを感じる人の割合が少ない。
- ・60代以上の年代では他の年代に比べて不便さを感じる人の割合が少ない。これは、年代により生活に必要なものの定義が異なるためであると推察できる。

【図表 1-25 買い物など日常生活での不便さ】



【図表 1-26 項目別買い物など日常生活での不便さ】

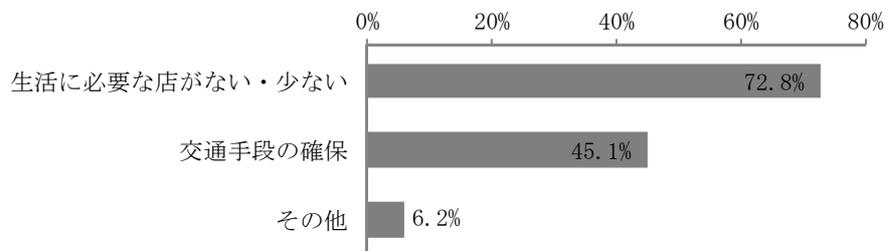


問 1 1 どのような点で不便だと感じているか

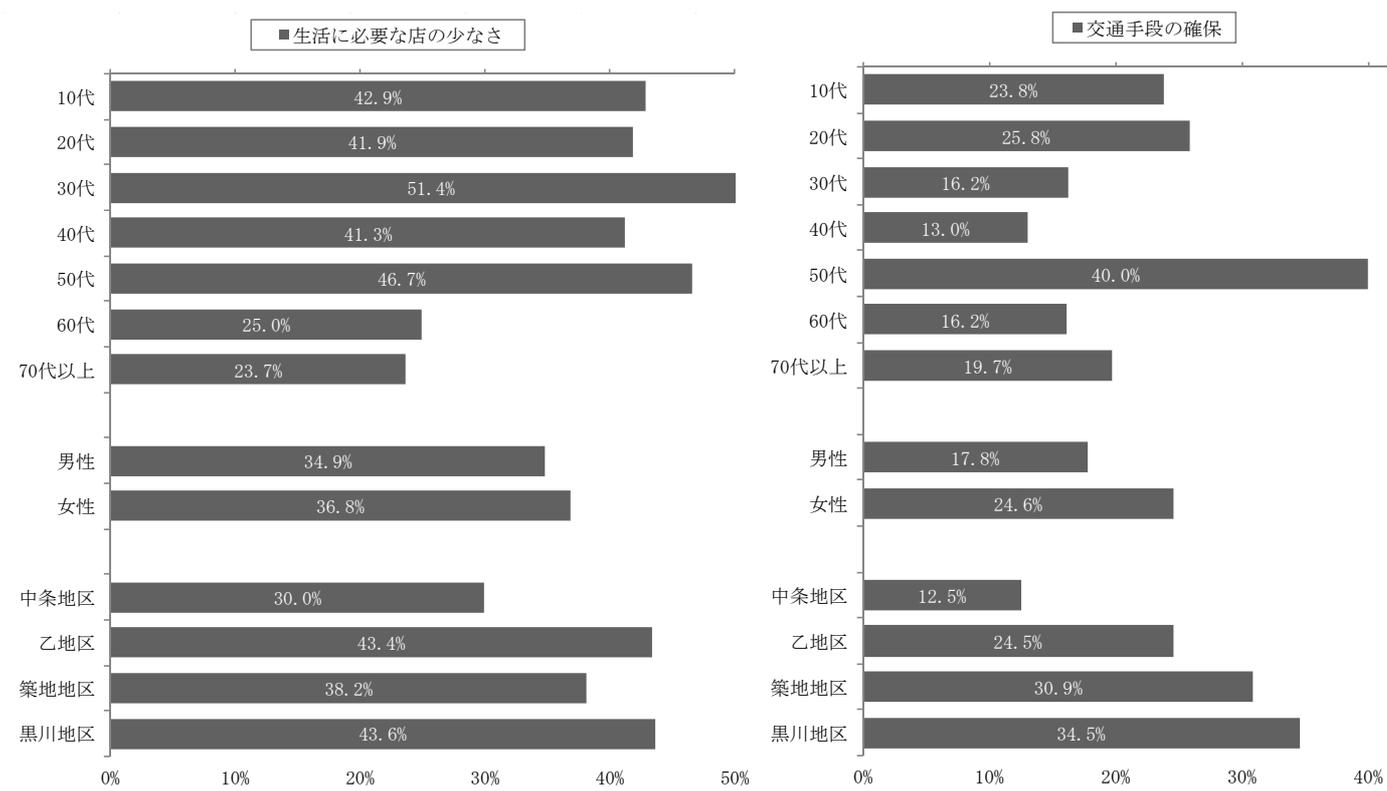
◆ 生活に不便と感じる人の7割が、「生活に必要な店がない・少ない」と回答。

- ・生活に不便さを感じている162人が不便と感じている点の第一位が「生活に必要な店がない・少ない」72.8%で、次いで「交通手段の確保」45.1%となっている。
- ・年代別では、50代以下の4割以上が「生活に必要な店がない・少ない」と感じている。
- ・年齢層によって、生活に必要な店の定義が異なり、現役世代では、スポーツ用品店、おしゃれな飲食店、娯楽施設などが「生活に必要な店」となっている。
- ・大型店舗等が立地している中条地区においては、他の地区に比べて不便さを感じる人の割合が少ない。〔再掲〕

【図表 1-27 不便と感じる理由（複数回答）】



【図表 1-28 項目別状況】



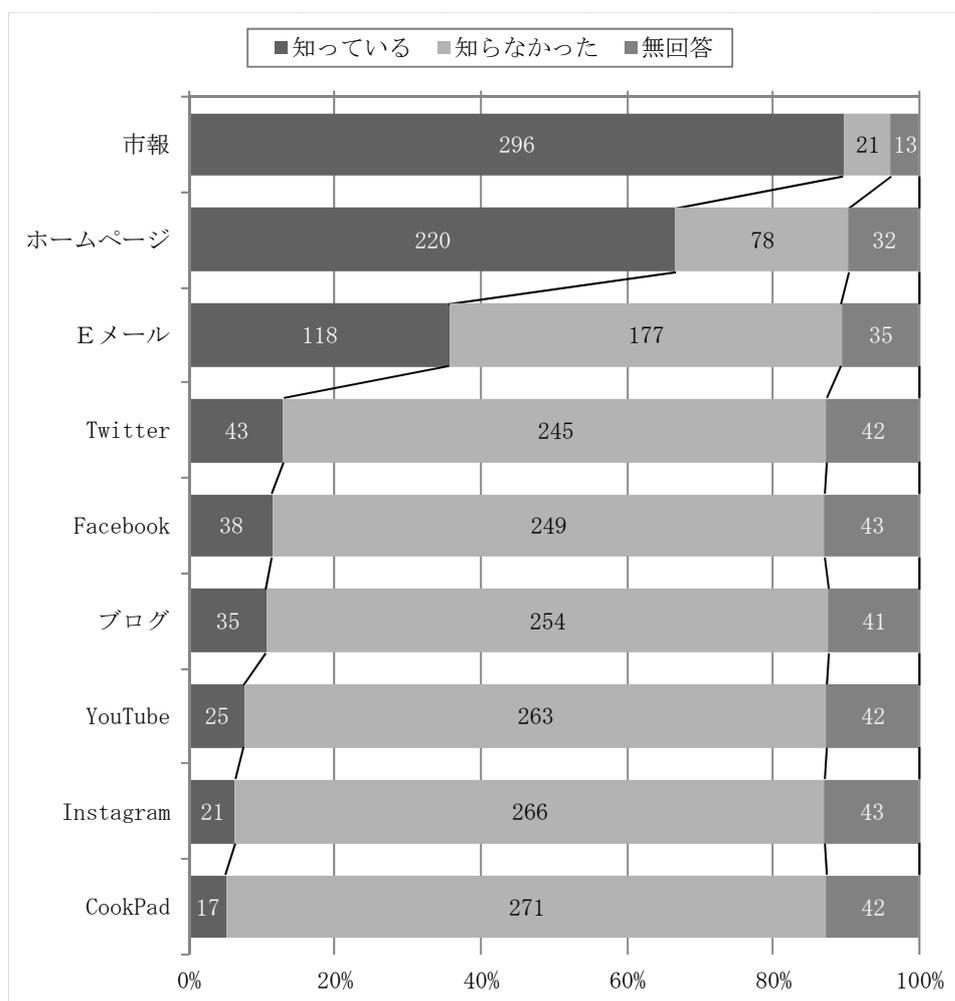
- 【買い物などの日常生活でどのような点に不便を感じているか（自由記述）】（n=11）
- ・スポーツ用具（こどもの野球やサッカー用の靴やボールなど）を買おうとしても「スポーツ店名A」や「スポーツ店名B」などの店がなく、困るときが多い。（乙地区・40代・女性）
 - ・店まで遠い。（中条地区・60代・女性、乙地区・30代・女性）
 - ・買物に行くまで自動車でも10分位かかる。（築地地区・50代・男性）
 - ・のれんす号があっても親の送りがないとだめな環境。のれんす号の時間が早すぎる。（黒川地区・10代・女性）
 - ・車に乗っている間は良いが、運転をやめたら郊外なので不便になると思う。（築地地区・60代・女性）
 - ・大型店は市内に集中で買物弱者です。家族は連れて行ってくれません。77才の今現在車に乗っているが、近々免許証を返納したいが返納できないですよ。（築地地区・70代以上・女性）
 - ・免許返納した。（中条地区・70代・男性）
 - ・娯楽施設があまりない。おしゃれな店、飲食店がない。（中条地区・30代・女性）
 - ・余暇を楽しめる場が少ない。（中条地区・40代・男性）
 - ・他の地域に、新発田市などに比べて値段が高い。（中条地区・50代・女性）
 - ・新潟市中心から引っ越して来たのでまるで県外から来た程の不便。（中条地区・30代・女性）
 - ・店はあるが活気、やる気がない。（黒川地区・50代・男性）

問 1 2 市政に関する情報発信方法を知っているか

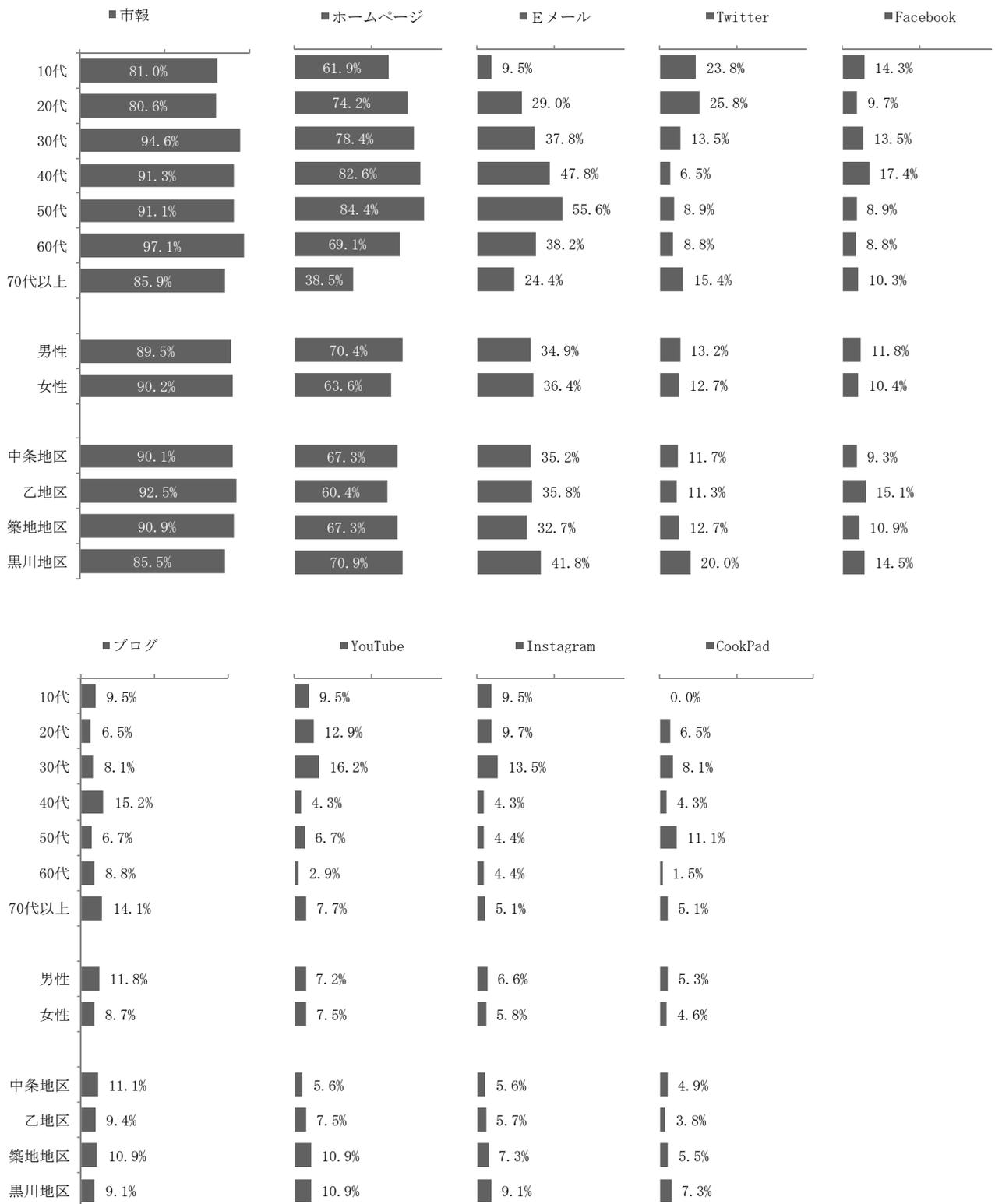
◆ SNS を活用した情報発信を実施していること自体まだまだ認知されていない。

- ・最も認知されている情報発信の方法は「市報」で 89.7%、次いで「ホームページ」66.7%、「Eメール」35.8%となり、それ以外は 2 割未満となった。
- ・SNS の中では、「Twitter」13%、「Facebook」11.5%となっているが、これらの手段を活用していることは 1 割程度の人にしか認知されていない。

【図表 1-29 情報発信方法の認知度】



【図表 1-30 項目別情報発信方法の認知度】

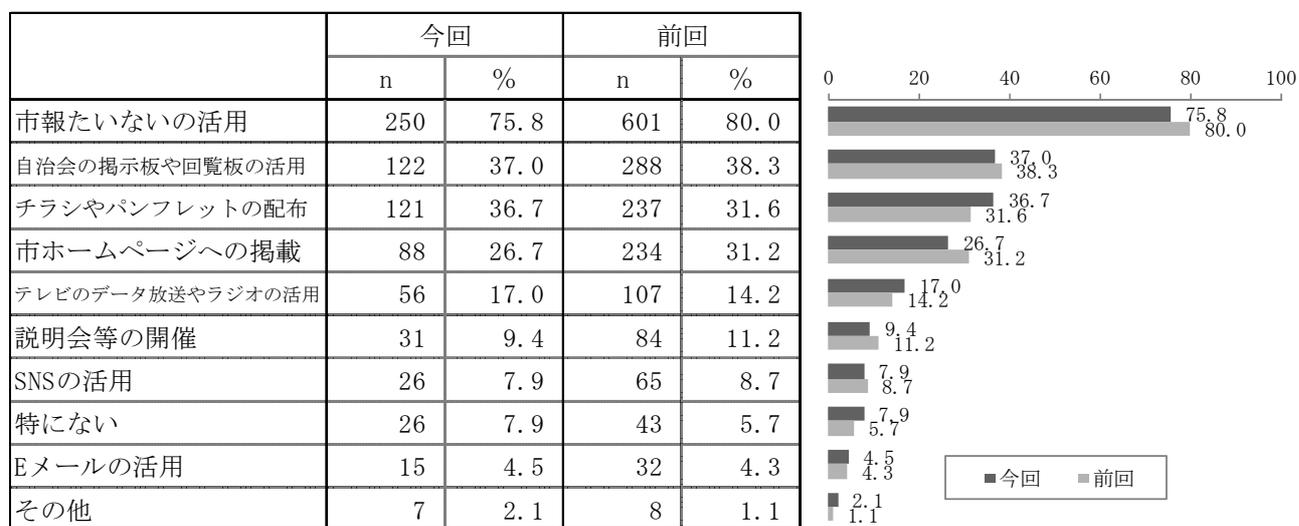


問 1 3 市政に関する情報提供をどのような形で行うのが良いと思うか

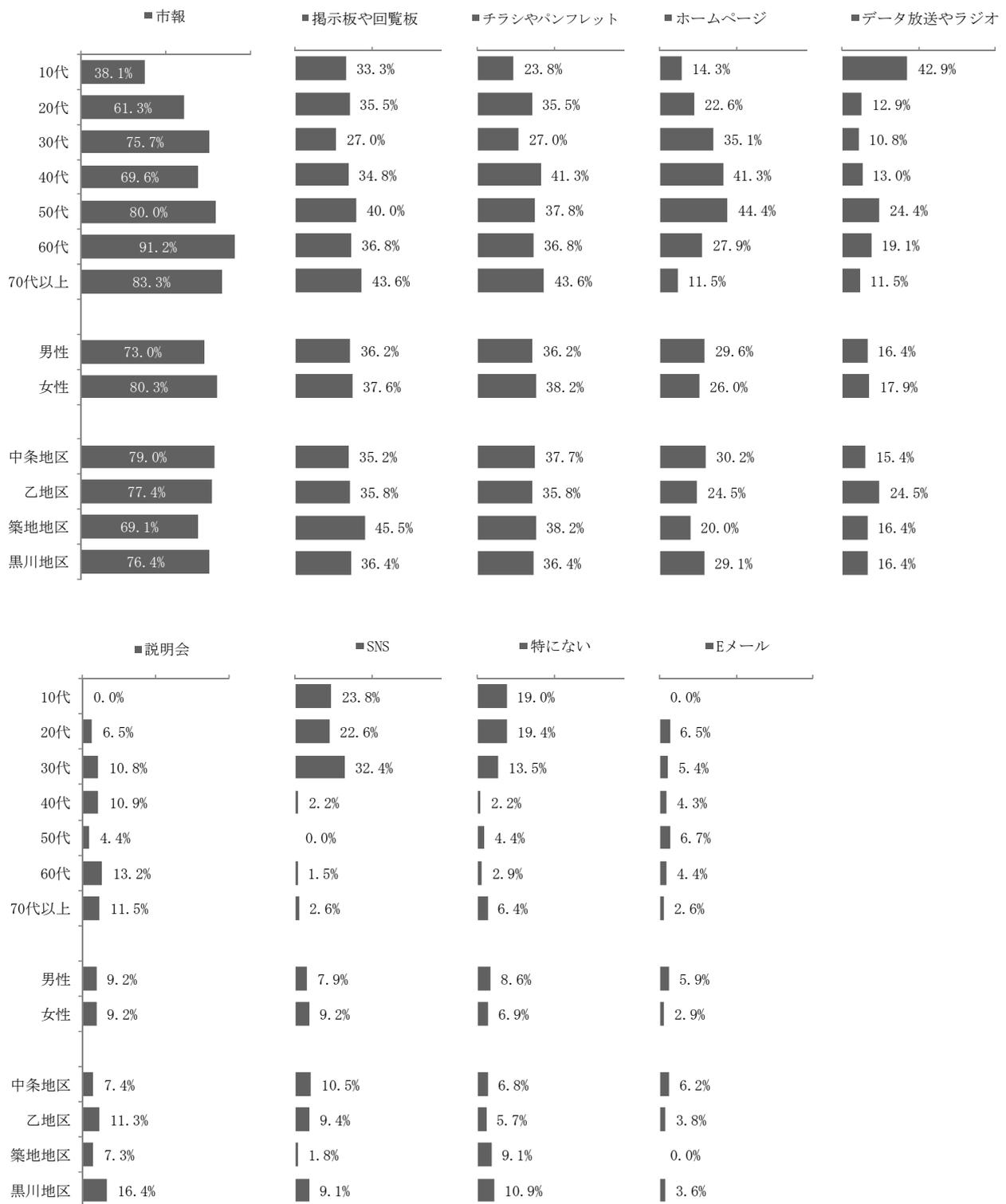
◆ 「市報たいないの活用」がダントツの第一位。前回と比較し順位はほぼ変わらず。

- ・「市報たいないの活用」が 75.8%と 4 人に 3 人が市報による情報提供を望んでいることが分かる。次いで、「自治会の掲示板や回覧板の活用」37%、「チラシやパンフレットの配布」36.7%、「市ホームページへの掲載」26.7%となった。なお、ホームページへの掲載については、前回調査と比較し 4.5 ポイント減少し 3 割を切る結果になった。
- ・30 代までは SNS による情報発信を選ぶ人が 2～3 割ほどいる。

【図表 1-31 望む情報提供方法（複数回答・3つまで）】



【図表 1-32 項目別望む情報提供方法（複数回答・3つまで）】



- 【市政に関する情報提供をどのようなかたちで行うのが良いか（自由記述）】（n=10）
- ・ 重要なのは、防災行政無線を活用する。（中条地区・60代・男性）
 - ・ 防災ラジオ（昼）と（夕）の何分間。（築地地区・50代・女性）
 - ・ PCでの発信の他、“face to face”での発信もとても大切です。いざという時は口コミがものを言います。（中条地区・50代・女性）
 - ・ 情報提供を担当する課を設け、希望する人の窓口となり、希望する人に提供可能とする。（中条地区・70代・男性）
 - ・ 「スーパーマーケット名」に掲示板を作る（お金がかからない）。（中条地区・30代・女性）
 - ・ なるべく安価な方法で！（中条地区・40代・男性）
 - ・ ちらしを作ることが重要でない。（黒川地区・60代・男性）
 - ・ パソコン使用できない人もいる。（黒川地区・60代・女性）
 - ・ 全世帯へのケーブルTVの設置希望。（築地地区・40代・男性）
 - ・ 書き切れない。（黒川地区・40代・男性）

問 1 4 市政全般に関する意見

施策順。1人が複数の意見を記載していた場合は、主な意見の場所に掲載。(n=81)

① 子育て支援

- ・地域によっては公園がなかったりするので、子供の遊ぶ場が少ないと思います。
見通しが悪い道路があるので危ない。(中条地区・30代・女性)
- ・子どもや若者が遊べる施設などが増えるといいと思う。衣類の店が少ないのがとても不便。(築地地区・20代・女性)
- ・スーパーとドラッグストアばかりが、やたら多いなと思う。
田舎で暮らしたい人を誘致できればいいなと思う。古民家とかで。
私は転勤あるからずっと住むかわからないけど、子育てについては、平和だから、いいと思う。(乙地区は)(乙地区・20代・女性)
- ・子どもの検診(～カ月検診、歯科検診など)の時間帯が午後1時～と子どもの昼寝の時間と重なり、子どもの生活リズムを考えていない。午前中にしてほしい。(保育園も午睡の時間です)
消防の広報(〇〇で火災・事故が発生、出動しています。というもの)が夜9時でも鳴り、子どもが起きるので大変迷惑。近隣の人には初動で知らされるだろうし、誰に向けた何のための放送なのかわからない。静かにしてほしい。
草だらけの公園がある。増やすより、きちんと整備してほしい。
交通量が多いのに歩道がない道路が多く、小学生が歩いていて危ない。通学路になる道路の歩道を確保してほしい。(乙地区・30代・男性)
- ・若者の再就職先を増やしてほしい。
子供達の色々な学びの場をもう少し作ってほしい。
母親が働ける様に未満児の受け入れ体制を強化してほしい。
「大規模商業施設名」を胎内市にもって来てほしい。(乙地区・40代・女性)
- ・中学生の子供がいます。中学校脇の体育館や武道館が無くなり、子供達は1つしかない体育館でそれぞれ時間を分けて部活動をしています。また、遠くまで自転車で移動があり大変です。※ふれすぽ胎内の場所が悪い!!遠すぎる。子供達のために運動できる施設環境を作って欲しい。
地下道の急な坂が不便。怖い。(中条地区・40代・女性)
- ・近くに公園がない。子供が遊ぶ場所がない。高齢者の重度の方がすぐ入れる施設があると良い。子供が小さい時に悩みを相談できる環境がなかったし、相談できても解決できなかった。(中条地区・40代・女性)
- ・子育て支援に力を入れてほしいです。親子で楽しめるイベント等があると良い。(乙地区・30代・女性)
- ・今後ますます少子高齢化が進むと思いますが、地域皆で子供達を守り育てる。そして高齢者が夫婦のみや一人暮らしでも安心して生活できる街づくりをお願いしたいと思います。人は宝、市民は宝。「人づくり」を大切にすばらしい胎内市になるよう期待し

ます。一市民として、これからも協力していきたいと思います。(黒川地区・50代・女性)

② 子どもの教育

- ・もっと国際教育に力を入れたらいいと思います。子供も大人も含めて。近隣の国の語学スクールや近隣の国の体験ツアーなどがあればいいと思います。(乙地区・40代・女性)
- ・食事の買い物等に不便は無いが、教育等の観点で人口少ないことが、他の都市で育った方に比べて不安。逆にそれが良い所でもあるが。もう少し地元で強い企業が多くあったり、他の何かがあると変わってくるのかもしれないが、その何かは、何かははっきり分かりません。(中条地区・30代・男性)
- ・今どきの子供達はあいさつしても知らんぷりで特に小学生は態度悪すぎる。(黒川地区・30代・女性)
- ・中学校の部活の場所は、学校の側であってほしいです。遠い[テニス(国際交流公園)、柔道(ふれすぼ胎内)](中条地区・60代・女性)

③ 結婚・妊娠・出産しやすい環境づくり

- ・婚活支援などももう少し増やしてほしいです。(築地地区・70代以上・女性)
- ・胎内市の飲食店(飲み屋に限らず)が、遅くまで開いてないので、仕事が終わってから、話が出来ることが少ない。
出会いのサポート、機会があれば利用したいと思っています。来年2月までとのことですが、期間を延長していただければと思います。(中条地区・40代・男性)
- ・住宅(新築など)建てる為の助成金(土地が少ない、土地が高いなどあるので)、不妊治療助成金(産婦人科がないぶん通院、不妊治療者の仕事状況など大変であること)、助成金に少し力を入れても良いと思う。今の状態は厳しそうです。(中条地区・30代・女性)

④ 郷土の歴史・文化

- ・東京から引っ越してきたばかりですが良い町だと思いました。三八市や小さなお祭りがたくさんあることはとても素敵だと思います。花火が鳴るのですがどこでやっているのか解からないので行けないこともあり残念です。(中条地区・40代・女性)

⑤ 生涯学習

- ・生涯学習センター(公民館)的な設備の整った建物もしくは改造をお願いしたい。体育館は出来たが学習の方は遅れていると思う。(築地地区・60代・女性)
- ・胎内市の図書館、築地中学校は暗くて古い。築地の子ども達が自分で通えるような場所に明るくて通いやすい学習センターのようなものが欲しい。(築地地区・10代・女性)
- ・図書館がほかの地域から比べても小さすぎる。もっと大きくて、ゆったりできるスペースが欲しい。本の在庫数が少なすぎる!(中条地区・50代・男性)

⑥ 生涯スポーツ

- ・市民用のプール（年間通して）を整備して欲しい。クアハウスは温泉と一緒に高い。（中条地区・40代・男性）
- ・新発田市の五十公野公園風の大勢の人々が集まり歩いたり、軽い山登り等の憩いの場を作ってほしい。大きな駐車も有ってそこに行ったら人がいる様なスペース。（中条地区・60代・男性）

⑦ 健康づくり

- ・市民の健康づくりをする場所が他の市より少ない、他の市は無料でできる所が充実している。
給与の水準が低いのに物価が他の市より高い。
胎内市は中途半端な市だと思います。娯楽も少ないし魅力ある企業も少ない為、若者が市外へ就職する人が多くいるのだと思います。（乙地区・20代・男性）
- ・20年前の保健婦は医者なみに診断していた（医者免許無し）。現在の保健婦は医師の指示で対応してほしいです。住みよい市のための願いです。（中条地区・20代・男性）

⑧ 医療体制づくり

- ・豊かな自然と、多種多様な施設、様々なイベントがありながら、PRがあまり上手ではないかなと思います。胎内市に住みたい！子どもを産みたい！と思える人を増やすには、やはり医療が充実していないのは、マイナスポイントだと思います。若者にとって魅力的な仕事、会社が増え、雇用の増進も必要だと思います。
豊かな自然の中で、のびのびと子どもを育てられるのは、とっても良いですが、子どもが少なく遊び相手に困る状況です。人口が増えてほしいと願っています。（乙地区・30代・女性）

⑨ 地域福祉

- ・現在高齢の2人暮らしですが、どちらかが欠けて1人暮らしとなった時、何かあった時、どうすればよいのか不安です。高齢者の見守りなどの助けがあると、ありがたいです。（子供達は遠くに住んでいるので）（中条地区・70代以上・女性）

⑩ 障がい福祉

- ・胎内市の障害者雇用を増やしてほしい。（黒川地区・30代・男性）

⑭ 商工振興

- ・企業誘致して若者が集まる町に。（築地地区・60代・男性）
- ・胎内市の若者が市内に定住できるように、就職する企業を増やせる工業団地の活用を希望します。（中条地区・50代・男性）
- ・人口減少の一つとして、企業体質がある。利益ばかりを優先し、若手の人材を無視し

扱い方を大切にしていない。6年もの月日を臨時扱いし、お金を払うことをしないのが現状である（違反）。こんな胎内市に見切りを付け減少するのは、あたり前である。今の30代の若者は、常識がなく大変困っている。（黒川地区・50代・男性）

- ・住所は胎内市にありますが、勤務地、マンションともに新潟市です。いずれは新潟市民になると思います。希望する職業が胎内市にはないのが現状です。（築地地区・30代・女性）
- ・赤ちゃん、子供用品のお店がない為、新発田まで行かなくてはいけないので、「子ども衣料品店名A」や「子ども衣料品店名B」でいいので作ってほしいです。（中条地区・20代・女性）

⑮ 観光・交流

- ・もう少し観光業の充実を図ったほうがいいと思う。村上市のように観光PRをもう少し頑張った方がいい。
他の自治体に比べ賃金が低い。
1部の市職員のみが残業しており不公平、課を超えて業務量をならすべきだと考える。（乙地区・30代・男性）
- ・自然環境の整備として、楡形山系のハイキング、ウォーキングの整備や胎内川の周辺の川遊び、釣りができる憩いの場を整備する。（中条地区・70代以上・男性）

⑱ 生活環境

- ・空き家対策（乙地区・50代・女性）
- ・船戸霊園に水道やゴミの集積所がなくて困る。（中条地区・40代・男性）

⑳ 居住環境

- ・胎内市はとても穏やかな町で、仮に私が遠くへ住むこととなっても、また帰って来たいと思うような所です。ただ、1つ不安に感じているのが少子化です。胎内市でも問題になっているとは思いますが、自分の地域の小中学校が急激に生徒が減ってきているのが、少し不安です。その点の対策も立てるためにも、町の活性化が不可欠だと思っております。皆がよりよく過ごせるような町づくりが実現できるよう、願っております。（乙地区・10代・男性）
- ・もう少し収入アップできて潤いのある生活がしたいです。人口増加するよう頑張ってください。（中条地区・40代・女性）
- ・若い人の市内定住対策を進めてほしい。市内の企業には、多くの若い人が働いているが、結婚する頃には、市外に住む人が多い。理由は何なのか？何が胎内市に不足しているのか？若い人との意見交換等し、人口減対策を進めてほしい。（築地地区・70代以上・男性）
- ・胎内市は、移住人者はいるのでしょうか？
もっと県内県外にアピールする方法を考え胎内市の人口を増やせたら最高です。（中条地区・60代・女性）

- ・暮らしやすい街になってほしいです。安心して生活がしたいです。(中条地区・30代・女性)
- ・間もなく中条駅連絡通路及び駅開業となりますが、人の流れが全くわからない。表町側には飲食店、公共施設等、人が集まる所が皆無です。駅庁舎内に売店等作る計画はどうか。(中条地区・60代・男性)
- ・娯楽施設、飲食店などが少ない。(中条地区・10代・男性)
- ・古い建物の立替えを希望します(中条小、中条中、図書館)。聖籠町、新発田市は新しい建物が多いように感じます。公共施設のバリアフリー化を進めてほしい。(中条地区・40代・女性)
- ・中条駅の改築は大変良かったと思う。通勤通学者も喜んでいると思います。お盆の帰省者、正月の帰省者の送迎にも良いですね。(中条地区・30代・男性)
- ・中条駅が建て替えられたのは良いが商業施設が駅から少し遠い。平木田駅も利用者人数が多いのでSuicaを使えるようにすることやトイレの整備などをしてほしい。(中条駅までとはいかなくても駅を建て替えることが望ましいと思う。)平木田駅周辺は以前までは店があったが今はやっていないので駅利用者人数も多いのでコンビニを作ってもよいと思う。(乙地区・10代・男性)
- ・衣・食・住の中で胎内市は住に課題が多い。自然が豊かな所ではあるが、冬となると除雪が悪い(消雪パイプ、防風ネットの数も少ない)、デマンドタクシーも利便性を上げて欲しい。運行時間の延長や、便数の拡大等。仕事(収入)に関しても、企業数が少ないし、職種も少ない。企業を誘致しても住居は胎内市では無い人が多い。住民税が取れない。中条病院も規模の縮小で診療科目が少ない。いろいろな課題の多い市だが、一つ一つ真摯に考えて解決して行くしかない。人口減少の中で胎内市が繁栄するには市民と市政にかかっている。(乙地区・60代・男性)
- ・道路脇の草刈りお疲れ様でした。とても気持ちよく感じています。(黒川地区・60代・女性)
- ・ずっと胎内市に住んでいると、こんなものかと思いがちだが、他の県などから来た人に聞くと、良いところ悪いところがある人がいる。そういう人たちにも聞くべき。(中条地区・50代・男性)

②① 地域交通

- ・のれんす号は不便。新発田市のようにあやめバスのような巡回バスにしてほしい(中条地区・70代・男性)
- ・子育て支援については、子供が成人したのでほとんど知らない。
新潟中央区に住むおばには、海、山が近くて自然がたくさんあって良いわねー！と言われる。
今は、運転できるのでどこでも行けるが、免許を返したその後は、不便なんだろうなーといつも思う。バスもないし、“のれんす号”もちょっとなー？どうかな？と思う。(築地地区・50代・女性)
- ・中条地区は充実してるかもしれないが、乙地区の高齢者たちは車を運転できないとど

こも行けないと思う。

- ・高齢者になっての交通便（運転免許証の返納）（築地地区・60代・男性）
- ・息子夫婦と同居ですが（現在私は健康です。）、80才位には運転免許証は返したいと思ってますが、その後の生活を思うと先が暗いです。体育館にも行けない、買い物も不自由…、大好きな登山行けない。家の中の生活に成る。朝9時頃、昼12時頃交通手段を望みます。（ふれすぼ胎内の体育館）

「自分の住んでいる旧小学校区」にコンビニが出来てくれればありがたいです。（築地地区・70代以上・女性）

- ・病院、買物など、行きやすい様にしてほしい。（だんだん年齢が増すので）（築地地区・60代・女性）
- ・集落にはコンビニがないので中条に買物に行くのが遠い。年をとった人たちは足に困っている。（築地地区・70代以上・女性）
- ・デマンドタクシーの使い勝手を、もう少し考えて下さい。（乙地区・60代・女性）
- ・県道沿いで、冬除雪が苦痛です。消パイが有るとありがたいです。
歩行タバコの禁止。飲食店の全面禁煙（中条地区・70代以上・男性）

② 防災・減災

- ・安全で安心して過ごせる胎内市をつくってください。（乙地区・60代・男性）
- ・防災ラジオ、普通にはっきりしゃべってから2回目以降ゆっくりしゃべってください。急なものは早く知りたい。防災ラジオは多くの家についているので活用を!!
最近ではゲリラ豪雨が多いので、川の整備などインフラは命に関わるので力を入れてください。（築地地区・50代・女性）
- ・緑地・畑地はたくさんあり自然豊かでよいが、中心部に避難の時に利用できる公園・施設の整備が不足している。旧町体育館の跡地にそのような公共の避難場所になる建物はあってもよいのではないのでしょうか。災害が起こってからでは困る。また、産業道路と踏切りの狭い状況も改善してほしい。事故が起こる前にスムーズな利用ができるよう、願う。（中条地区・60代・女性）

⑤ 広報・広聴

- ・Eメールでの情報発信をしていることは知っていますが、登録のしかたが分かりません。すごくいいシステムだと思うので、もっと分かりやすい場所に掲示（掲載）するなどしていただけると嬉しいです。（中条地区・20代・女性）
- ・できれば市で行わないイベントなどの情報も知れるように、市にも情報提供をしてほしい。
市の施設をもっといろんな人、世代が使えるように、アクセスとか、日時まで細かく知らせてほしい。
胎内市のホームページのアクセスの所をもう少しわかりやすくした方が利用者に良いと思う。（中条地区・10代・女性）
- ・インターネットはやらないので、そういう人間にも細かい情報が伝わる様な形をとっ

てもらえたら良い。(中条地区・60代・女性)

- ・ネット関連は自分もそうだが、高齢者のみならずよく知らない人が以外に多いと思う。情報発信方法をその人達の立場になって考えてほしい。就職先が少なく、地元に戻りたくても帰って来ない学生が多いのが残念です。(中条地区・50代・女性)
- ・胎内市は行政と市民がとても近い(よい意味で)関係でありがたいと思います。行政の各部署の担当の方々も、熱心でとても親切です。市が大変よい取組をやっていることを知らないことがあり、そのことで私たち自身不便を感じているのかもしれないと思うことがあります。私たちも積極的に情報を得ようと思います。(中条地区・50代・女性)

⑳ 行政運営

- ・市の財政状況を理解した給料体系、他市町村との比較したものではなく独自の考えでの運営で考えてほしい。(黒川地区・60代・男性)
- ・自分は「集落名A」に住んでいますが、中条駅辺りは本当に良いと思うのですが、私等みたいな人々は置きざりみたいに感じます。と同時に、子供達も「集落名A」に帰って来たくないと言います。でも私達は頑張ってボランティアとか色々やっていますが、体調を悪くしてしまいました。何か有る度に何でもホットホットと成っております。でも役場の職員さんの心がなごむ所は昔と違いとても感謝しております。(乙地区・70代以上・女性)
- ・先日、市に提出する書類の添付書類について、電話で確認しましたが、「担当に代わります」と言って転送した先の方が答えられず、さらに別の人に代わった。その事を知人に話したら、「胎内市はいつもそう!!もっと知識向上の意識を持って仕事をしてほしいよね!!」と言っていました。(黒川地区・40代・女性)
- ・お互い助け合う、思いやりのある地域にできれば住みやすくなると思います。それを進める行政を期待します。市民ができることはしていきたいと思います。(中条地区・70代以上・女性)
- ・昔は中条町でしたが、今は胎内市「集落名B」ですけど、大変良いです。(黒川地区・70代以上・女性)
- ・やがて90才になりますが、市民の一員として他人に御迷惑の掛けない様に生活をして行きたいです。(中条地区・70代・男性)
- ・より良く、発展してゆく町に(中条地区・20代・男性)
- ・子供に恵まれなかったので初めから二人暮らしです。生まれも育ちも中条で良かったと思います。自然があるので毎日山や川を見て来ました。私は昭和の初期なので、82才です。幼いころはもっと山や川が豊かだったと思います。若い世代になったので近時の人達も知る人はほとんど居ません。でも私読書が好きなのでそれに音楽も聞こえるからのんびりです。心配はなるべくしない様に心がけて暮らしています。でも少し淋しい。(中条地区・70代以上・女性)
- ・特になし。より良い市になるようにお願いします。(中条地区・10代・男性)

- ・「集落C」は何もない。(道路、交通の利便性が特に悪い)
教育、文化施設、商店等すべてが悪い！これでは若者は誰も地元には残らないと思う。
(黒川地区・10代・男性)
- ・胎内市は不便すぎる。(黒川地区・10代・女性)
- ・不用な事業(営利を伴わない)や、余っている職員(仕事はできるのか?)を考えてもらいたい。逆に仕事のできる職員には今以上の対価を！税金を有効活用して下さい！(中条地区・40代・男性)
- ・必要のないサービス(やさしさ)はやめていただきたいです。就業、それに応じた対価を頂く、生計を立てる。少しでも多くの納税を！その様な方向を示してもらいたい。私共、一般市民が変われば、国まで変わると思います。(中条地区・40代・男性)
- ・魅力のない“町”になりました。(中条地区・50代・女性)
- ・70才過ぎた老人です。カナ文字には弱っています。特に問12の情報発信の中ではカナ文字をもっとわかりやすく発信して戴きたい。(中条地区・70代・男性)
- ・高齢でアナログ人間にはEメールをはじめ最新の情報は興味がありません。この設問で何をまとめようとしているのか理解しがたいです。他町村から結婚を機に移住した身として、小さいながら生活に必要な商品、医療はまあまあ間に合っていますので、くらしやすい町だと思っています。子供たちは大学に行くことによって結果として残念な結果になっています。(中条地区・70代以上・女性)

(2) 集計結果 (児童・生徒アンケート)

回答者の属性

① 区分

「小学生」の95.4%、「中学生」の95.7%が回答。

【図表 2-1 回答者の区分】

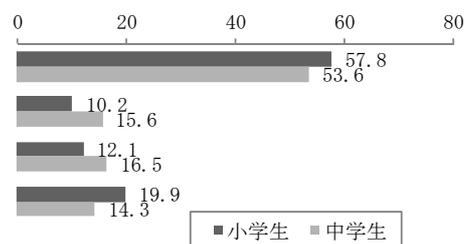
全体	小学6年生	中学3年生
430	206	224
100%	47.9%	52.1%

② 居住地域

中条地区居住者が50%以上を占めている。

【図表 2-2 回答者の居住地区】

	小学生		中学生		全体	
	n	%	n	%	n	%
中条地区	119	57.8	120	53.6	239	55.6
乙地区	21	10.2	35	15.6	56	13.0
築地地区	25	12.1	37	16.5	62	14.4
黒川地区	41	19.9	32	14.3	73	17.0
全体	206	100.0	224	100.0	430	100.0



問1 これからも胎内市に住み続けたいと思うか

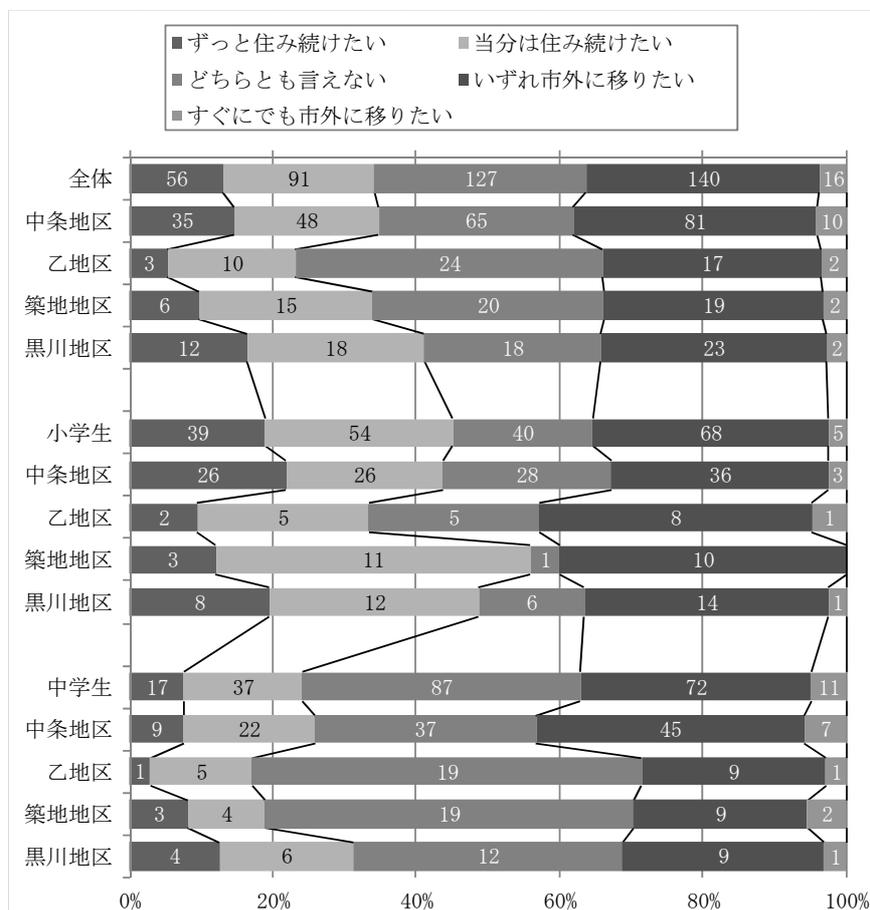
◆ 5割弱が住み続けたいと回答。

- ・小学生では「いずれは市外に住みたい」33%、「当分は住み続けたい」26.2%の順になっており、45.1%が住み続けたいと回答。
- ・中学生では「どちらとも言えない」38.8%、「いずれは市外に住みたい」32.1%の順になっており、34.2%が住み続けたいと回答。原因は不明だが、住み続けたいとする意識が中学生になると低下する様子。

【図表 2-3 住み続ける意向】



【図表 2-4 項目別住み続ける意向】



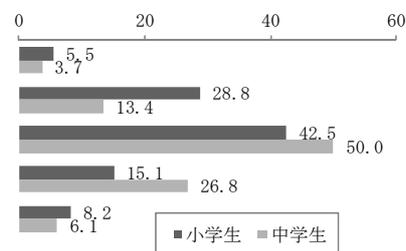
問2 進学などで胎内市を離れても就職するタイミングなどで胎内市に戻ってきたいと思うか

◆ 約半数が「どちらとも言えない」と回答。肯定的に捉える割合は4人にひとり。

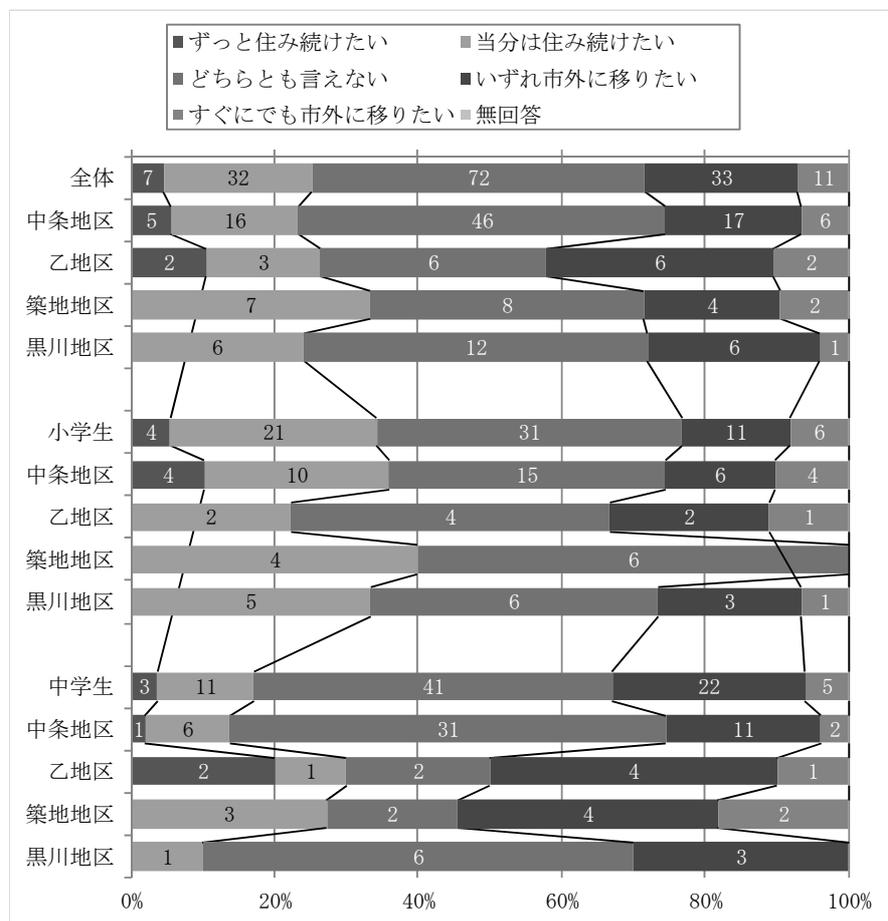
- ・小学生では、「どちらとも言えない」42.5%、「できれば戻って住みたい」28.8%の順になっており、市外に移りたいと回答した人のうち34.3%がUターンを希望。
- ・中学生では、「どちらとも言えない」50%、「できれば戻って住みたくない」26.8%の順になっており、市外に移りたいと回答した人のうち25.1%がUターンを希望。

【図表 2-5 Uターンの意向】

	小学生		中学生		全体	
	n	%	n	%	n	%
必ず戻ってきたい	4	5.5	3	3.7	7	4.5
できれば戻って住みたい	21	28.8	11	13.4	32	20.6
どちらとも言えない	31	42.5	41	50.0	72	46.5
できれば戻って住みたくない	11	15.1	22	26.8	33	21.3
絶対に戻って住みたくない	6	8.2	5	6.1	11	7.1
全体	73	100.0	82	100.0	155	100.0



【図表 2-6 項目別Uターンの意向】



問3 将来やりたい（なりたい）職業は

◆ 「スポーツ選手」、「医療・福祉関係」が人気

- ・大きく分類した中で、「スポーツ選手」が56人（13%）で最も多く、次いで「医療・福祉関係」が53人（12.3%）、「保育・教育」が50人（11.6%）となった。
- ・中学生では、「未定・なし」が37人（16.5%）を占めており、将来のことについて悩んでいる傾向があることが分かる。

【図表 2-7 やりたい（なりたい）職業（大分類）（自由記述）】

全体		小学生		中学生	
スポーツ選手	56	スポーツ選手	44	未定・なし	37
医療・福祉関係	53	医療・福祉関係	30	保育・教育	30
保育・教育	50	保育・教育	20	公務	24
未定・なし	45	飲食関係	20	医療・福祉関係	23
公務	33	ゲーム関係	14	理美容関係	13
飲食関係	23	動物関係	13	スポーツ選手	12
理美容関係	22	会社員	13	スポーツ関係	9
会社員	21	建築関係	10	技術職	8
技術職	18	技術職	10	会社員	8
動物関係	17	理美容関係	9	出版関係	7
スポーツ関係	16	服飾関係	9	ディズニー関係	7
ゲーム関係	15	公務	9		
出版関係	15	ユーチューバー	8		
建築関係	15	未定・なし	8		
服飾関係	12	テレビ・芸能関係	8		
テレビ・芸能関係	12	出版関係	8		

【図表 2-8 やりたい（なりたい）職業（小分類）（自由記述）】

全体		小学生		中学生	
未定・なし	45	保育士	17	未定・なし	37
保育士	33	野球選手	16	公務員	16
野球選手	19	医者	9	保育士	16
公務員	19	サッカー選手	8	教師	14
教師	16	未定・なし	8	美容師	10
美容師	16	大工	8	医療関係	7
医者	11	ユーチューバー	8	ディズニー関係	7
大工	11	ゲームクリエイター	8	会社員	5
会社員	11	薬剤師	8	工業関係	5
看護師	11	看護師	7	スポーツ関係	4

問4 住んでいる地区の良いところは

◆ 豊かな自然環境とあたたかな人間関係が上位。

- ・「豊かな自然」が55.1%で最も多く、「地域の行事や人間関係が豊か」が35.8%と続いている。
- ・「地域の行事や人間関係が豊か」については、「人が優しい・温かい」、「いろいろなイベントがある・獅子舞などの伝統行事がある」などが記載されていた。
- ・「特産物がある・食べ物がおいしい」については、24.2%が選択しており、米・米粉を始めとして、ぶどう・さつまいも・野菜・肉などが挙げられている。
- ・「安全で落ち着いた住環境」については、12.6%が選択しており、「安全・犯罪が少ない・平和」などのキーワードが挙げられている。

【図表 2-9 居住地区の良いところ・上位】



問5 住んでいる地区の不安なところや困っているところは

◆ 25%弱が「特にない」と回答。

- ・「特にない」が 24.4%と最も多く、4人にひとりが不安なところや困っているところはないと回答。
- ・次いで、「生活に必要な店等が不足している」が 17%、「治安等の面で住環境に不安」15.1%と続いている。
- ・「生活に必要な店等が不足している」については、コンビニ、服屋、ショッピングモールなどが挙げられている。
- ・「治安等の面で住環境に不安」については、不審者に関する記述が多くある中で、海拔が低いことや土砂災害などの災害を不安に思う記述もある。
- ・「マナーが悪い」については、ごみのポイ捨てに関する記述のほか、自動車の運転マナーに関する記述も見られた。

【図表 2-10 不安なところや困っているところ】



問6 住みよくなるにはどのようなになればよいか

◆ 集計中

・ 文章

【図表】

問7 それを実現するためにどんなことをするか

◆ 集計中

・ 文章

【図表】

(3) 集計結果（新成人アンケート）

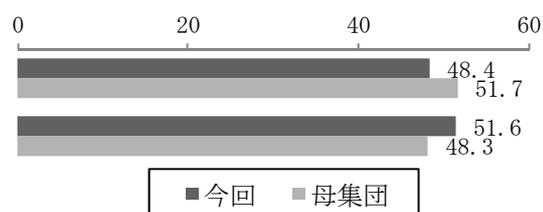
回答者の属性

① 性別

回答者の男女比は、女性が51.6%で男性を上回っている。実際の成人式対象者割合と比較しても、女性の回答割合がより多い結果となった。

【図表 3-1 回答者の性別】

	今回		母集団	
	n	%	n	%
男性	62	48.4	226	51.7
女性	66	51.6	211	48.3
無回答		0.0		0.0
全体	128	100.0	437	100.0



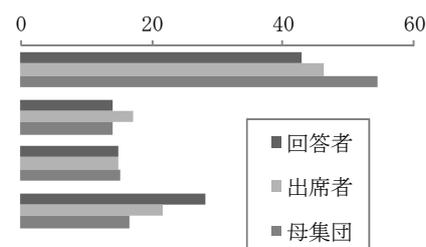
※母集団：生涯学習課調査結果より（以下同様）

② 出身地

「中条地区」が43%を占め、次いで「黒川地区」が28.1%と続いた。対象者構成比と比較すると、「中条地区」の出席率が低く、「黒川地区」の出席率が高い結果となった。

【図表 3-2 回答者の出身地】

	回答者		出席者		母集団	
	n	%	n	%	n	%
中条地区	55	43.0	94	46.3	171	54.3
乙地区	18	14.1	35	17.2	44	14.0
築地地区	19	14.8	30	14.8	48	15.2
黒川地区	36	28.1	44	21.7	52	16.5
全体	128	100.0	203	100.0	315	100.0

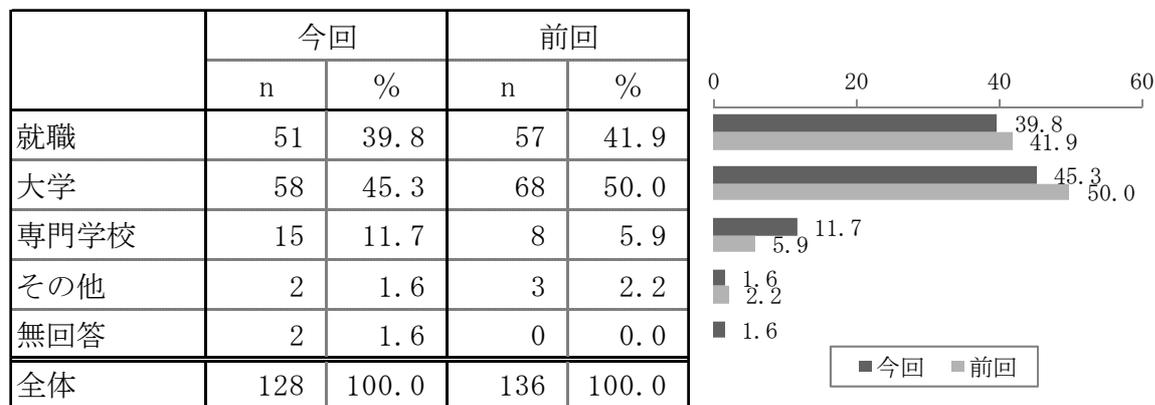


※出席者：生涯学習課調査結果より（以下同様）

③ 現在の状況

「大学」在籍者が45.3%で最も多く、次いで「就職」が39.8%となっている。前回と比較すると、「専門学校」の在籍割合が5.8ポイント高くなっている。

【図表 3-3 回答者の現状】



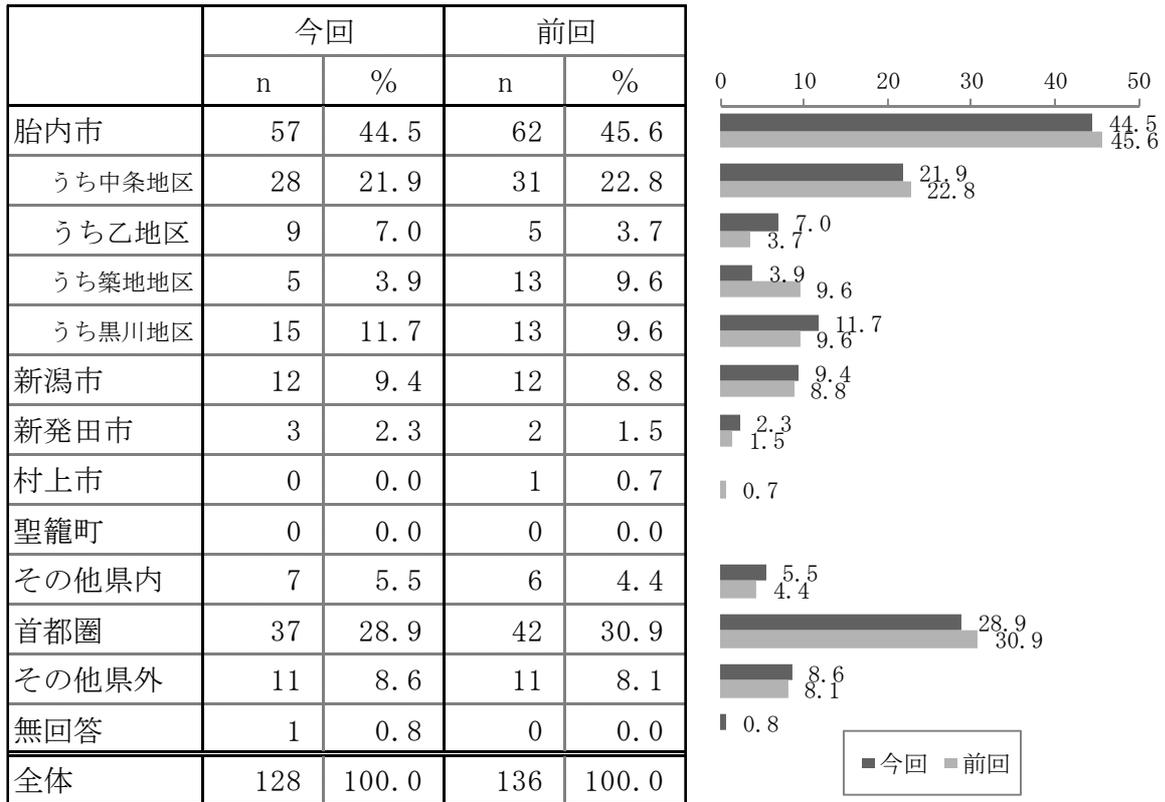
※前回：平成29年（2017年）8月15日の成人式アンケート調査結果より（以下同様）

④ 現在の生活場所

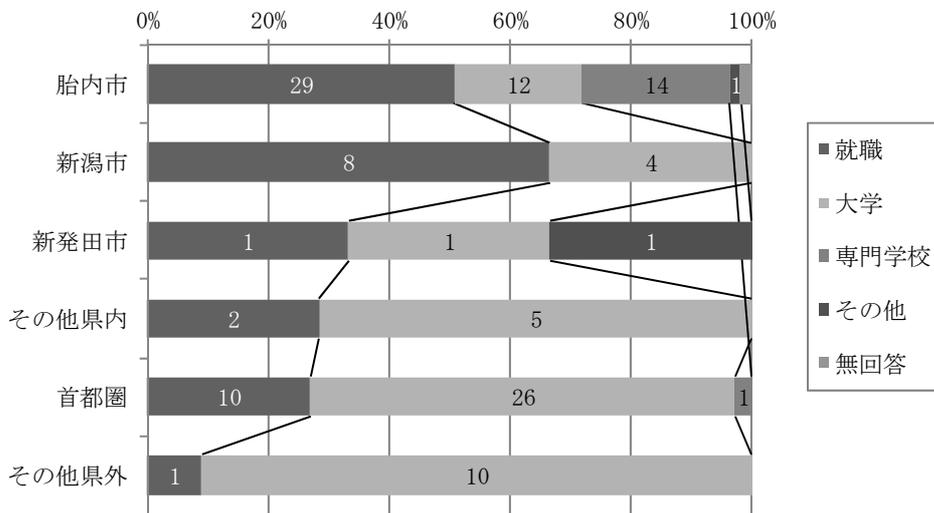
「胎内市」が44.9%で最も多く、次いで「首都圏」が29.1%となっている。生活場所の割合は、ほぼ昨年と同様である。

生活場所と現在の状況のクロス集計を確認すると、胎内市内に居住している人の多くは既に就職している。一方、首都圏在住者の70.3%は大学に在籍しており、この人たちのUターンをどれだけ図れるかが人口減少対策の一つのポイントになると思われる。

【図表 3-3 回答者の生活場所】



【図表 3-4 回答者の生活場所×現在の状況】



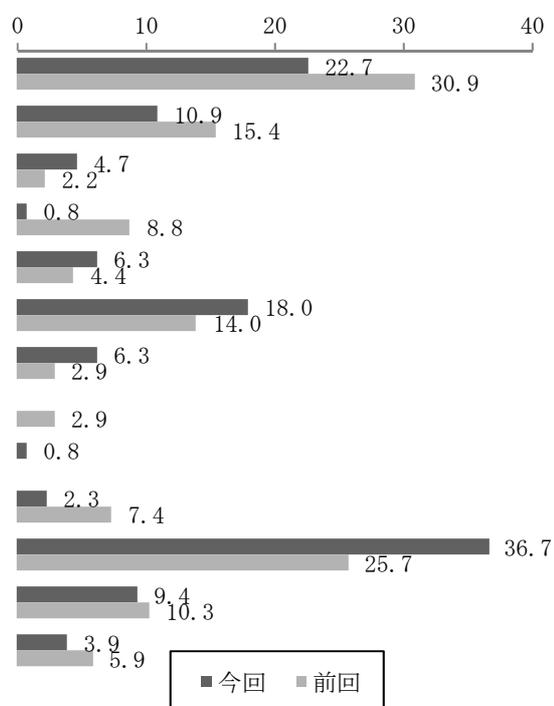
問1 25歳の時、どこで生活することを考えているか

◆ 首都圏への流出が顕著、胎内市での定住意識が薄い。

- ・ 回答者が思う25歳のときの生活場所は、「首都圏」が36.7%で最も多く、次いで「胎内市」22.7%、「新潟市」18%となっている。昨年と比較すると、「首都圏」の割合が11ポイント上昇し、「胎内市」の割合が8.2ポイント減少している。
- ・ 胎内市内で就職していない人のほとんどが市外に移る意思があることが分かる。また、市外に一旦転出した人がUターンしてくる率は非常に低く、特に「首都圏」からは「胎内市」にUターンを考えている人がいないことも分かる。

【図表 3-5 25歳のときの生活場所】

	今回		前回	
	n	%	n	%
胎内市	29	22.7	42	30.9
うち中条地区	14	10.9	21	15.4
うち乙地区	6	4.7	3	2.2
うち築地地区	1	0.8	12	8.8
うち黒川地区	8	6.3	6	4.4
新潟市	23	18.0	19	14.0
新発田市	8	6.3	4	2.9
村上市	0	0.0	4	2.9
聖籠町	1	0.8	0	0.0
その他県内	3	2.3	10	7.4
首都圏	47	36.7	35	25.7
その他県外	12	9.4	14	10.3
無回答	5	3.9	8	5.9
全体	128	100.0	136	100.0



【図表 3-6 現在の居所×25歳のときの生活場所】

	総計	胎内市	新潟市	新発田市	聖籠町	その他 県内	首都圏	その他 県外	無回答
総計	128	29	23	8	1	3	47	12	5
	100.0%	22.7%	18.0%	6.3%	0.8%	2.3%	36.7%	9.4%	3.9%
胎内市	57	25	11	3	1	2	9	5	1
	100.0%	43.9%	19.3%	5.3%	1.8%	3.5%	15.8%	8.8%	1.8%
新潟市	12		9	1			2		
	100.0%	0.0%	75.0%	8.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
新発田市	3			2			1		
	100.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
その他県内	7	3		1		1	2		
	100.0%	42.9%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%
首都圏	37		2	1			30	4	
	100.0%	0.0%	5.4%	2.7%	0.0%	0.0%	81.1%	10.8%	0.0%
その他県外	11	1	1				3	3	3
	100.0%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	27.3%	27.3%
無回答	1								1
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

【25歳のときの生活場所を選択した理由（自由記述・大まかに区分）】

① 胎内市

- ・職場がある・仕事が生内にあるから（n=4）
- ・実家があるから（n=2）
- ・市内から出る予定ないから（n=2）
- ・家庭の事情
- ・まだ考えていないから

② 新潟市

- ・職場がある・就職先がありそうだから（n=11）
- ・今も住んでいるから
- ・住みやすいから

③ 新発田市

- ・高校が新発田だったから
- ・住みやすいから

④ その他県内

- ・子供のため（聖籠町）
- ・結婚するから（燕市）
- ・転勤していると思うから

⑤ 首都圏

- ・ 職場がある・就職を都内で考えている・IT企業が多いから (n=14)
- ・ 便利だから (n=2)
- ・ 東京に住んでみたいので (n=2)
- ・ なんとなく (n=2)
- ・ 現在の居住地のため
- ・ やりたいことがあるから
- ・ 社会経験を積むため
- ・ 歳を取ってから中条へ戻る
- ・ 免許をとりたくないから
- ・ 妻のため

⑥ その他県外

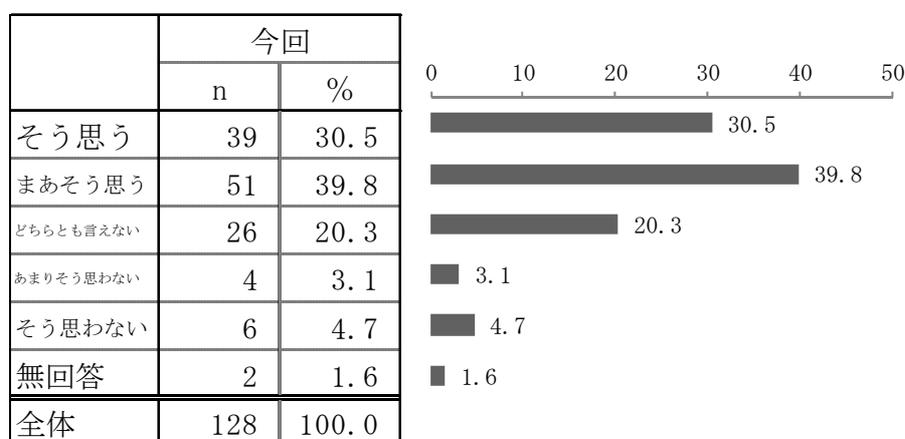
- ・ 就職のため

問2 胎内市は暮らしやすいまちだと思うか

◆ 7割が暮らしやすいまちだと回答。市民意識調査よりも肯定的に捉える傾向。

- ・「そう思う」30.5%、「まあそう思う」39.8%と合計70.3%が暮らしやすいまちだと回答している。
- ・首都圏で暮らしている人も64.8%が胎内市は暮らしやすいまちだと回答しているが、そう思わない人も8.1%いる。
- ・就職している人で暮らしにくいまちだと感じている人はいない。

【図表 3-7 暮らしやすいまちか】



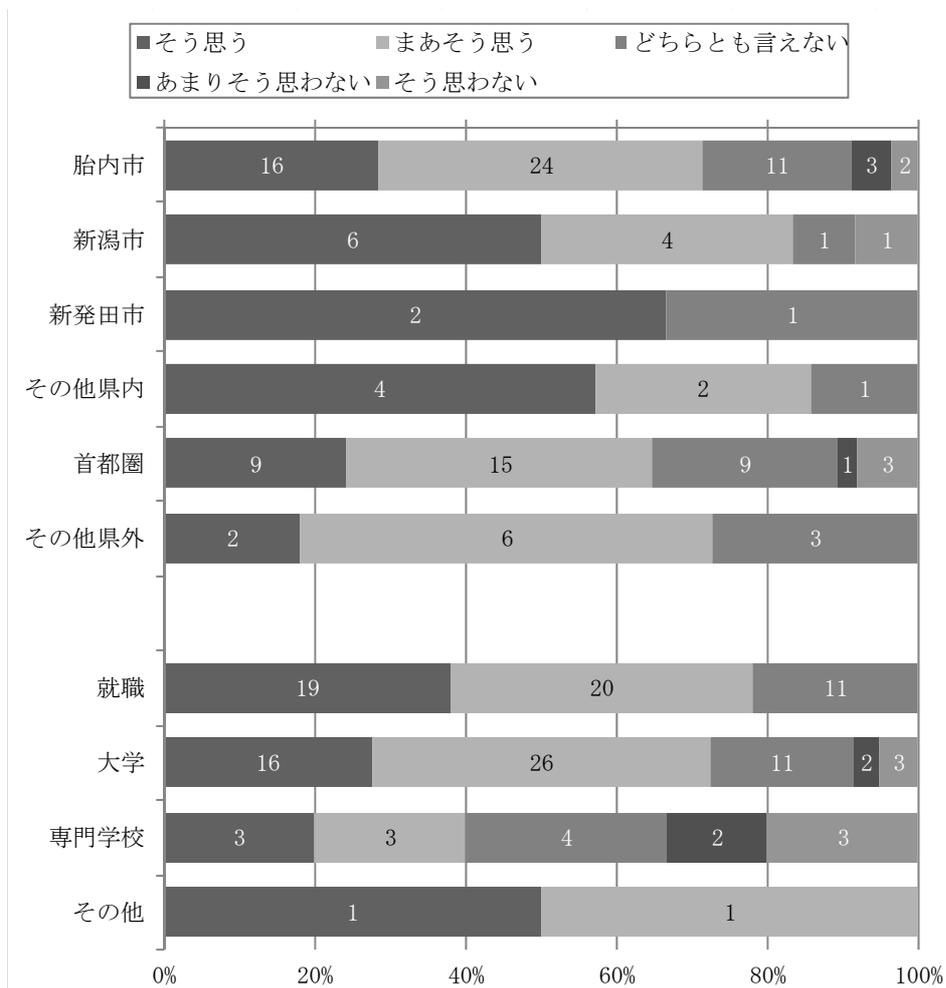
【図表 3-8 現在の居住地×暮らしやすいまちか】

	総計	そう 思う	まあそう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
総計	128	39	51	26	4	6	2
	100.0%	30.5%	39.8%	20.3%	3.1%	4.7%	1.6%
胎内市	57	16	24	11	3	2	1
	100.0%	28.1%	42.1%	19.3%	5.3%	3.5%	1.8%
新潟市	12	6	4	1		1	
	100.0%	50.0%	33.3%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%
新発田市	3	2		1			
	100.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
その他県内	7	4	2	1			
	100.0%	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
首都圏	37	9	15	9	1	3	
	100.0%	24.3%	40.5%	24.3%	2.7%	8.1%	0.0%
その他県外	11	2	6	3			
	100.0%	18.2%	54.5%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1						1
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

【図表 3-9 現在の状況×暮らしやすいまちか】

	総計	そう 思う	まあそう 思う	どちらとも 言えない	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
総計	128	39	51	26	4	6	2
	100.0%	30.5%	39.8%	20.3%	3.1%	4.7%	1.6%
就職	51	19	20	11			1
	100.0%	37.3%	39.2%	21.6%	0.0%	0.0%	2.0%
大学	58	16	26	11	2	3	
	100.0%	27.6%	44.8%	19.0%	3.4%	5.2%	0.0%
専門学校	15	3	3	4	2	3	
	100.0%	20.0%	20.0%	26.7%	13.3%	20.0%	0.0%
その他	2	1	1				
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	2		1				1
	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%

【図表 3-10 項目別暮らしやすいまちか】



【暮らしやすいまちを選択した理由（自由記述・大まかに区分）】

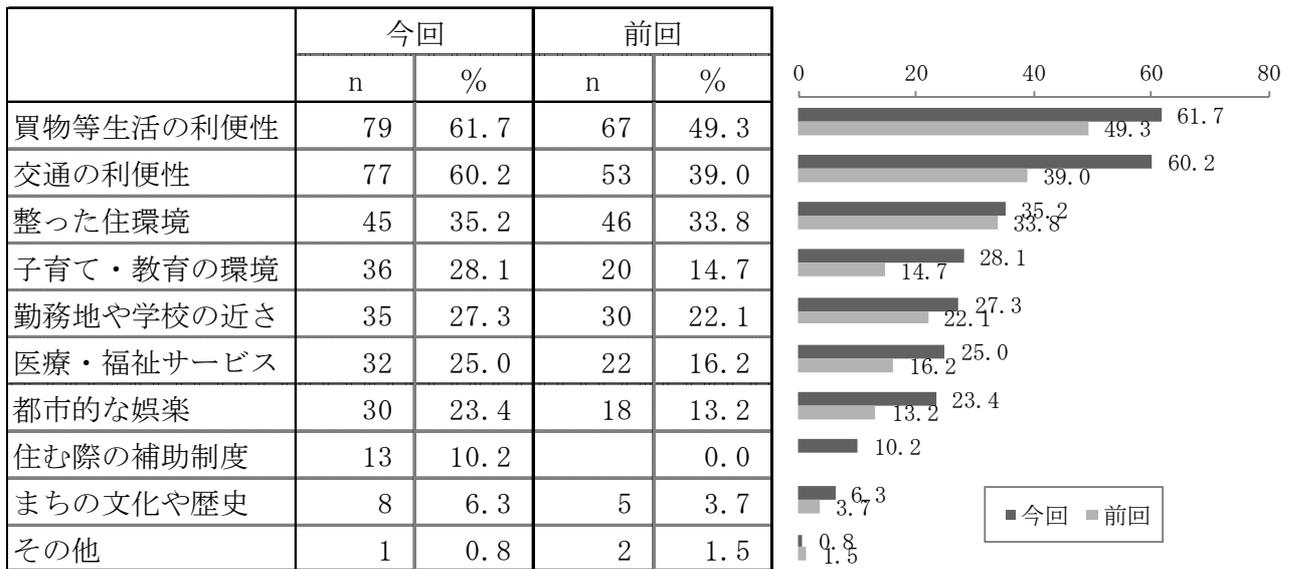
- ① そう思う・まあそう思う
- ・自然が豊かなので
 - ・空気がおいしいから
 - ・田んぼがたくさんある
 - ・落ち着きがあり、星がよく見える
 - ・過ごしやすい環境
 - ・スーパーとかある
 - ・ちょうどよいあんばい
 - ・変わっていない町なので
 - ・駅が新しくなるなど、活性化してきたため
 - ・住んでいたから
- ② まあそう思う
- ・自然が豊かだから (n=2)
 - ・静かだから
 - ・皆仲良くて楽しい
 - ・人柄が良い
 - ・平和だから
 - ・のどか
 - ・あまり家にいないため分からないが、不便ではないから
 - ・もっと発展すべきだと思う
 - ・車がないと不便
- ③ どちらとも言えない
- ・なんとなく (n=2)
 - ・落ち着いてはいるが何もない
 - ・何もないから、電車が少ない
 - ・良くも悪くも何もない
 - ・物量がちょっと少なめ
 - ・全てが遠い
- ④ あまりそう思わない
- ・スーパーしかないから
 - ・若い人が少なく楽しくない
- ⑤ そう思わない
- ・交通の便が悪い。(n=2)
 - ・駅前が未発達

問3 住む場所を選ぶ際に重視することは何か

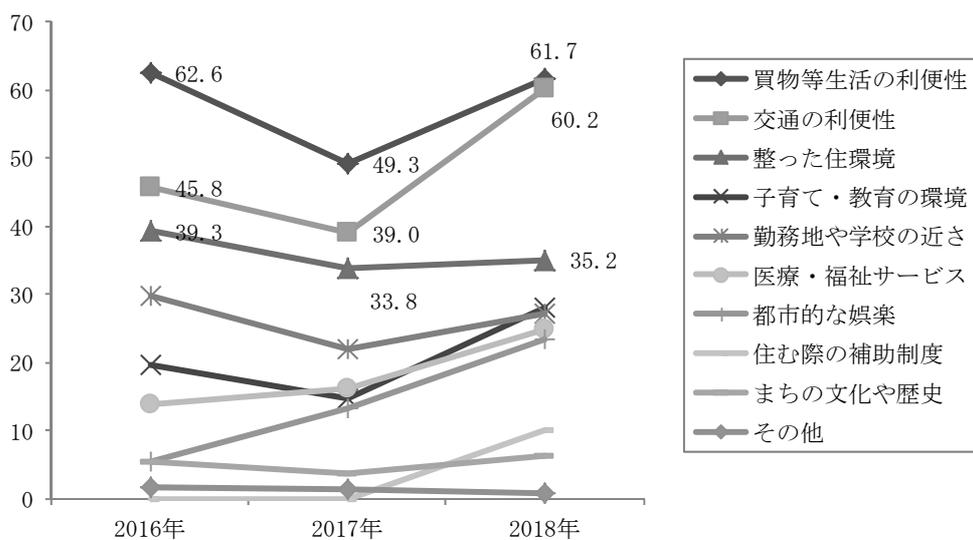
◆ 「買い物など生活の利便性」や「交通の利便性」を重視

- ・「買い物など生活の利便性」が61.7%と最も多く、次いで「交通の利便性」が60.2%となった。なお、交通の利便性の順位に変動はないが、昨年と比較し、重視する割合が21.2ポイント上昇する結果となった。
- ・都市的な娯楽を重視する傾向が強くなってきている。

【図表 3-11 住む場所を選ぶ際に重視すること（複数回答）】



【図表 3-12 3か年の経過】

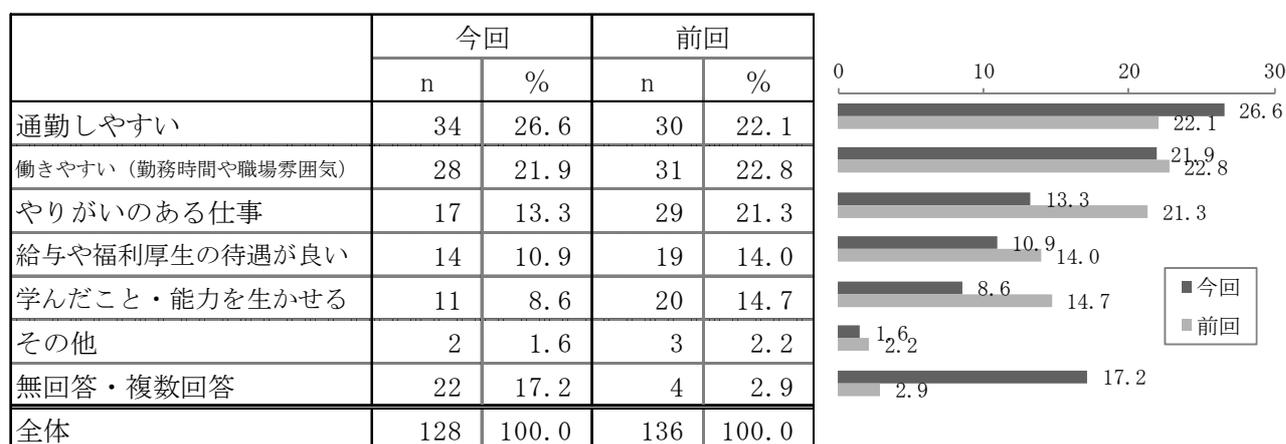


問4 就職するに当たって最も重視する(した)ことは何か

◆ 「通勤のしやすさ」を最も重視する傾向。

- ・「通勤しやすい」が26.6%と最も多く、次いで「働きやすい(勤務時間や職場環境)」が21.9%、「やりがいのある仕事」が13.3%、「給与や福利厚生の良い」10.9%、「学んだこと・能力を生かせる」8.6%と続いた。
- ・昨年は上位3項目がほぼ同率だったのに対し、今回は通勤のしやすさがトップとなり、2位と4.7ポイントの差が付いた。
- ・最も重視するもの一つを選択する単一回答としていたが、複数項目を選択する人が18人(14%)いた。

【図表 3-13 就職に際し最も重視すること】



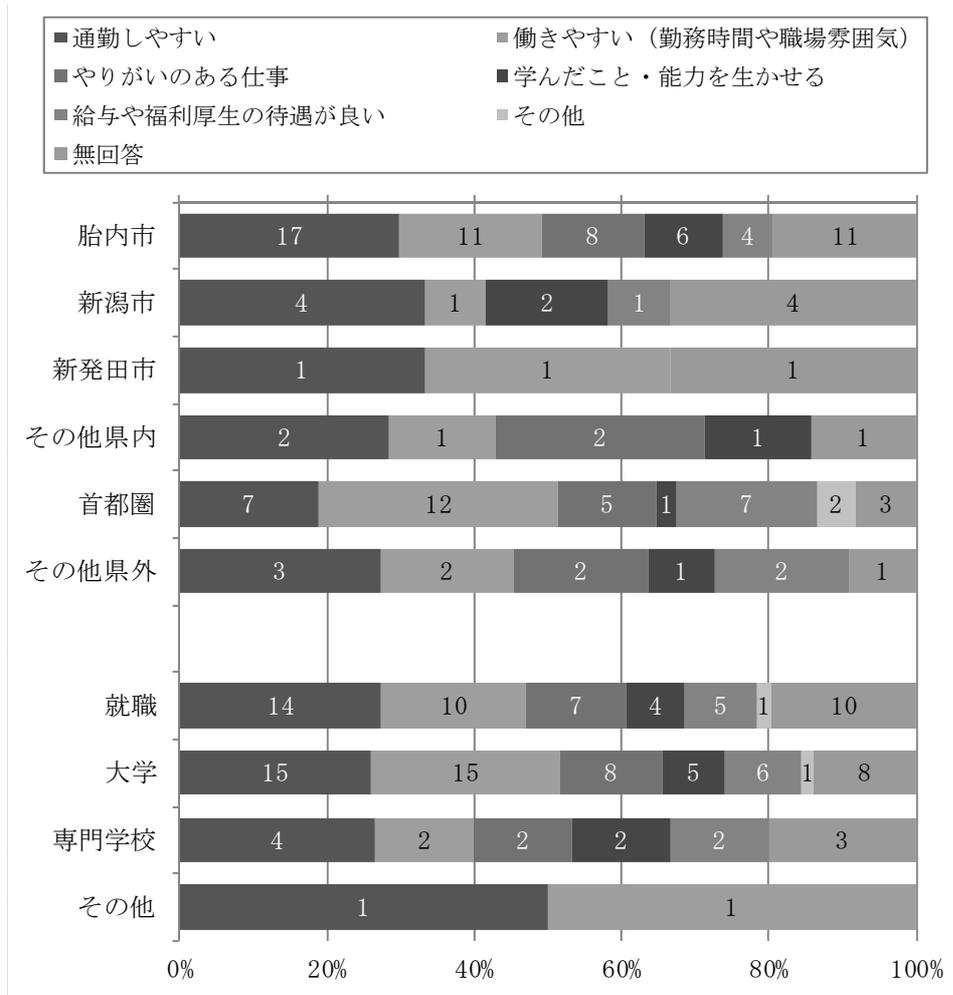
【図表 3-14 居住地域×就職に際し重視すること】

	総計	通勤しやすい	働きやすい(勤務時間や職場雰囲気)	やりがいのある仕事	学んだこと・能力を生かせる	給与や福利厚生の良い	その他	複数回答 無回答
総計	128	34	28	17	11	14	2	22
	100.0%	26.6%	21.9%	13.3%	8.6%	10.9%	1.6%	17.2%
胎内市	57	17	11	8	6	4	0	11
	100.0%	29.8%	19.3%	14.0%	10.5%	7.0%	0.0%	19.3%
新潟市	12	4	1		2	1		4
	100.0%	33.3%	8.3%	0.0%	16.7%	8.3%	0.0%	33.3%
新発田市	3	1	1					1
	100.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
その他県内	7	2	1	2	1			1
	100.0%	28.6%	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%
首都圏	37	7	12	5	1	7	2	3
	100.0%	18.9%	32.4%	13.5%	2.7%	18.9%	5.4%	8.1%
その他県外	11	3	2	2	1	2		1
	100.0%	27.3%	18.2%	18.2%	9.1%	18.2%	0.0%	9.1%
無回答	1							1
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

【図表 3-15 現在の状況×就職に際し重視すること】

	総計	通勤しやすい	働きやすい (勤務時間や 職場雰囲気)	やりがいの ある仕事	学んだこと・ 能力を生かせる	給与や福利厚 生の待遇が 良い	その他	複数回答 無回答
総計	128	34	28	17	11	14	2	22
	100.0%	26.6%	21.9%	13.3%	8.6%	10.9%	1.6%	17.2%
就職	51	14	10	7	4	5	1	10
	100.0%	27.5%	19.6%	13.7%	7.8%	9.8%	2.0%	19.6%
大学	58	15	15	8	5	6	1	8
	100.0%	25.9%	25.9%	13.8%	8.6%	10.3%	1.7%	13.8%
専門学校	15	4	2	2	2	2		3
	100.0%	26.7%	13.3%	13.3%	13.3%	13.3%	0.0%	20.0%
その他	2	1	1					
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	2					1		1
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%

【図表 3-16 項目別就職に際し重視すること】

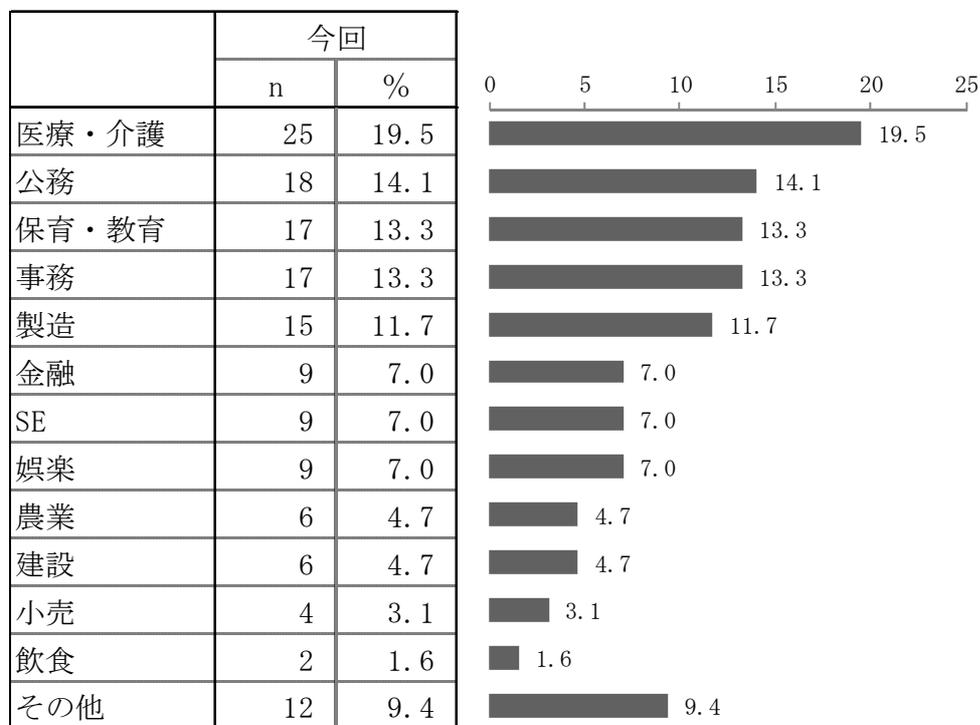


問5 どのような業種に就きたいか（就いているか）

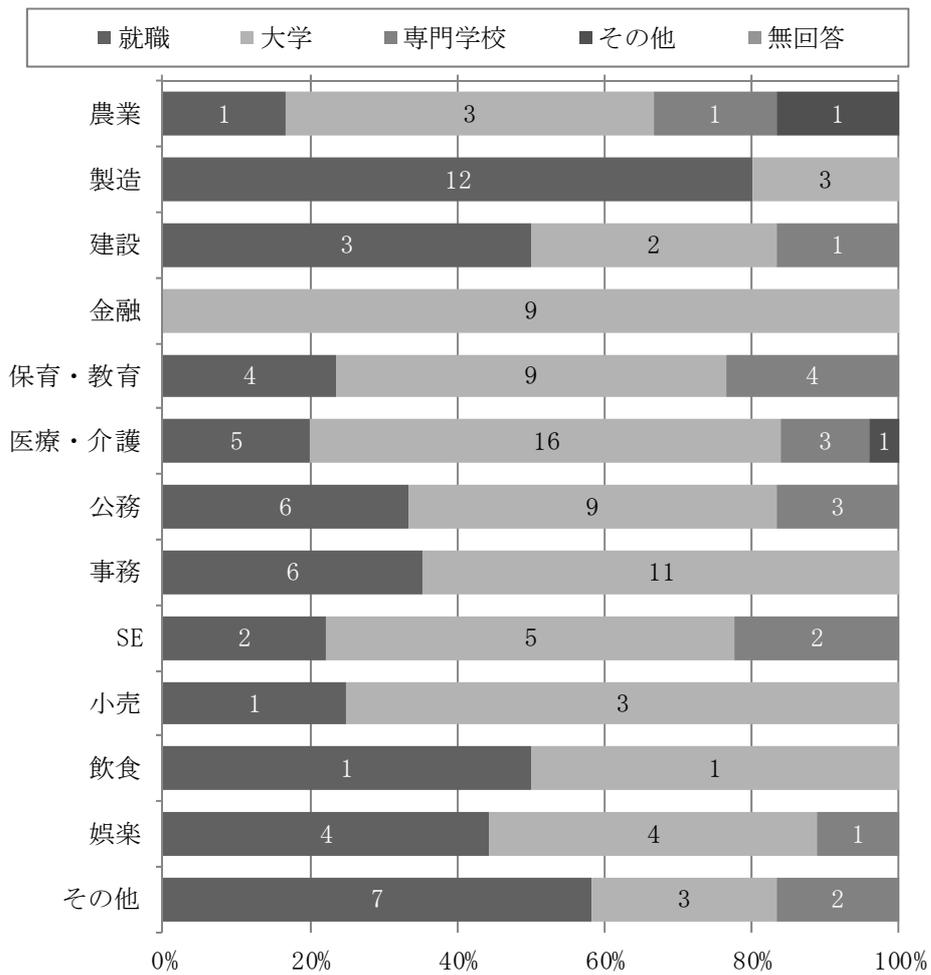
◆ 「医療・介護」を選択する人が多い。

- ・「医療・介護」を選択する人が 19.5%と最も多く、「公務」14.1%、「保育・教育」と「事務」13.3%、「製造」11.7%と続いている。
- ・「その他」は、アパレル3人、接客2人、開発・自動車整備・生態保護・貿易がそれぞれ1人となった。
- ・既に就職している人の23.5%が「製造」となっている。
- ・市の基幹産業の一つである「農業」に従事を希望する人の半数は、大学に在籍中である。

【図表 3-17 就きたい（就いている）業種（複数回答）】



【図表 3-18 現在の状況×就きたい（就いている）業種】

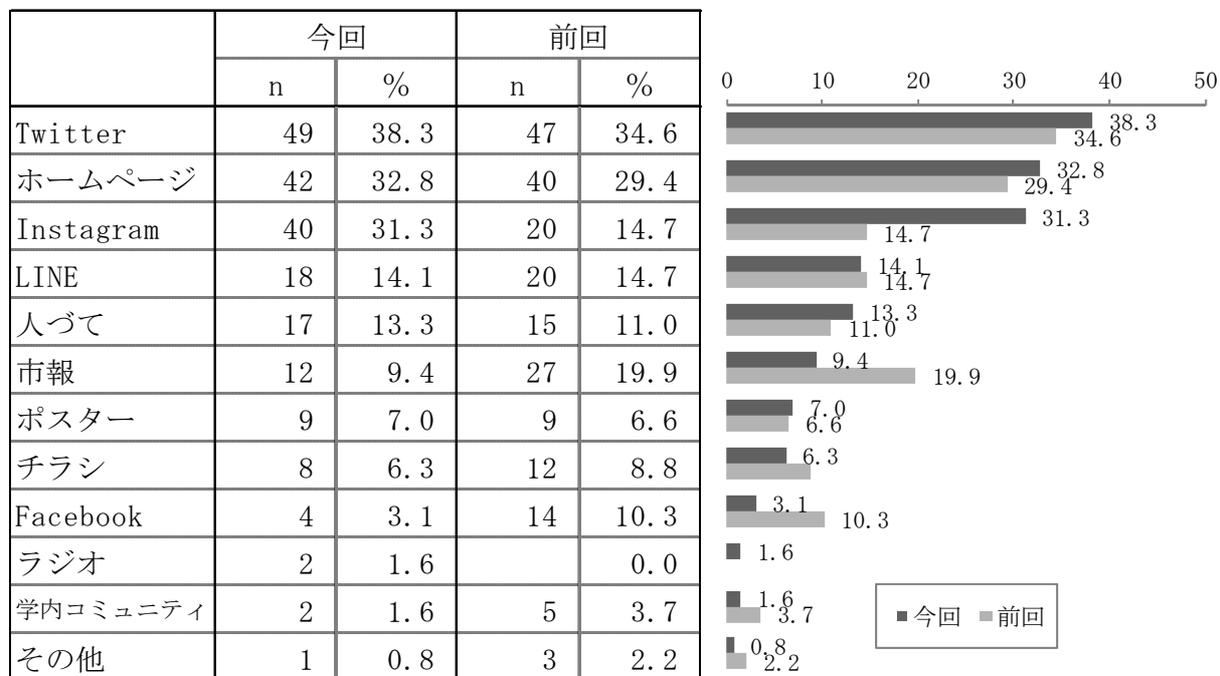


問6 どのようなツールを用いて情報を取得しているか

◆ 「Instagram」の活用が昨年比2倍超に上昇。

- ・「Twitter」が38.3%で最も多く昨年比3.7ポイント上昇した。次いで、「ホームページ」が32.8%で昨年比3.4ポイント上昇する結果となった。
- ・「Instagram」は31.3%で昨年比16.6ポイント上昇し、ここ1年で情報取得方法の上位に位置するようになった。一方、「市報」は9.4%で前年比10.5ポイント、「Facebook」は3.1%で7.2ポイント減少する結果となった。
- ・SNSの活用状況では、「Twitter」、「Instagram」、「LINE」、「Facebook」の順となっており、Facebookの活用が鈍化してきている傾向が見受けられる。

【図表3-19 情報取得の方法（複数回答）】

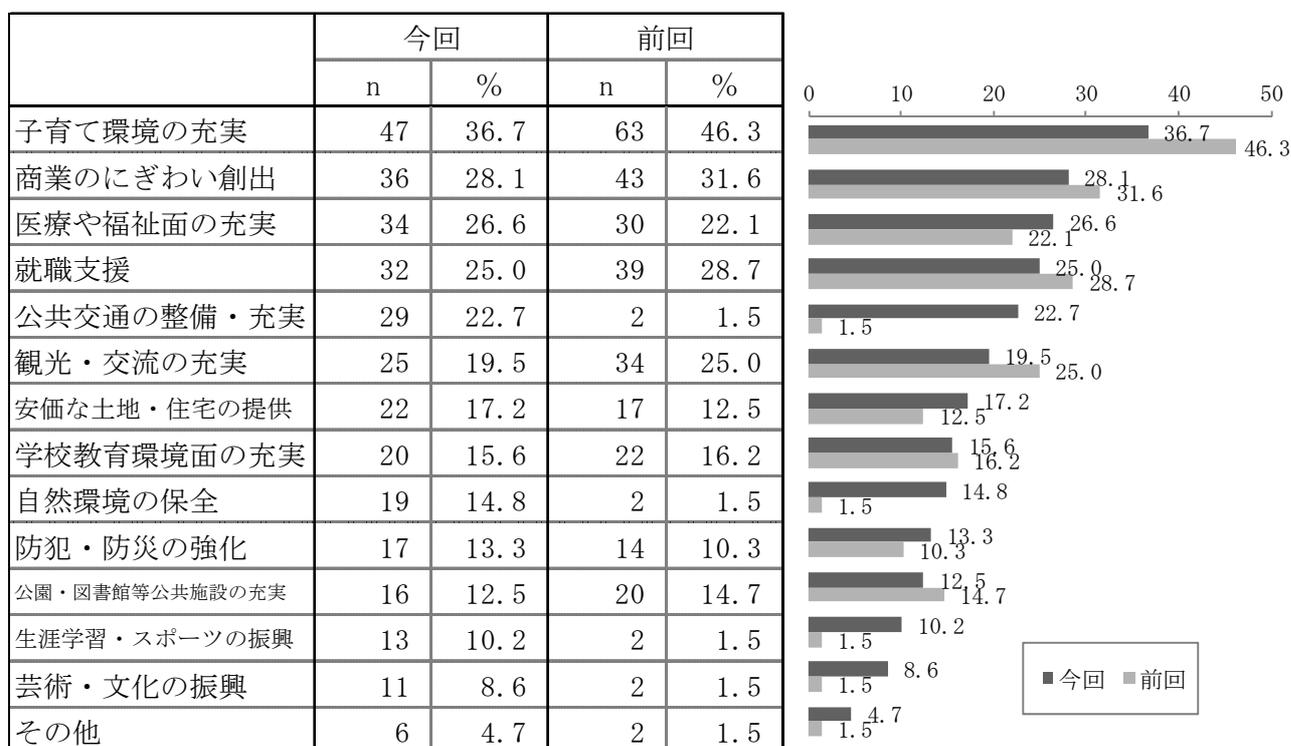


問7 胎内市が選ばれ続けるまちであるためにはどのような施策が必要だと思うか

◆ 「子育て支援の充実」が最上位。

- ・「子育て環境の充実」が36.7%で最も多く、次いで「商業のにぎわい創出」28.1%、「医療や福祉面の充実」26.6%、「就職支援」25%、「公共交通の整備・充実」22.7%と続いている。
- ・昨年と比較すると「子育て環境の充実」が9.6ポイント減少している。これは必要な施策ではないとして下がったのか、充足されてきており満足度が上がったことから下がったのかは判断できない。
- ・「公共交通の整備・充実」が昨年度比21.2ポイント、「自然環境の保全」が13.3ポイント上昇している。

【図表 3-20 必要な施策（複数回答）】



【図表 3-21 必要な施策の経年】

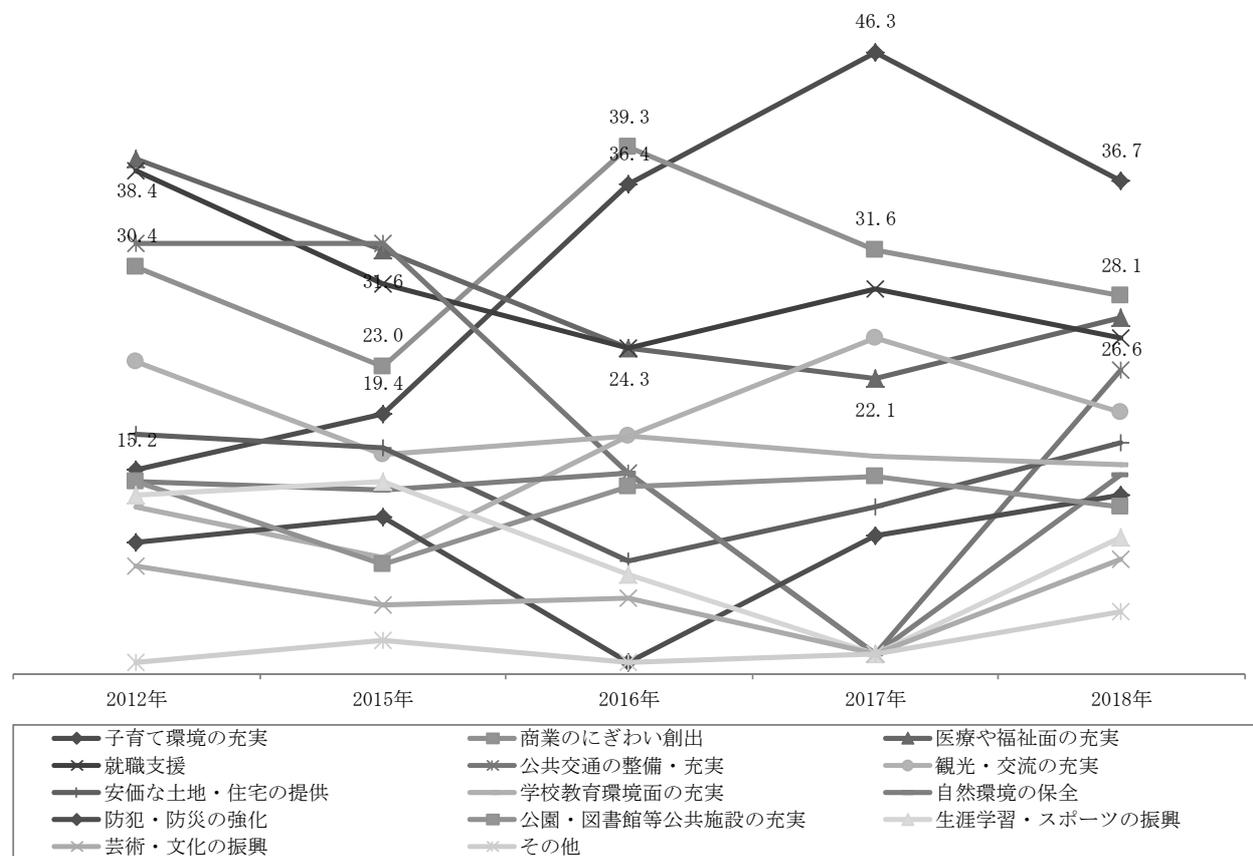
	2012年		2015年		2016年		2017年		2018年	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
子育て環境の充実	17	15.2	38	19.4	39	36.4	63	46.3	47	36.7
商業のにぎわい創出	34	30.4	45	23.0	42	39.3	43	31.6	36	28.1
医療や福祉面の充実	43	38.4	62	31.6	26	24.3	30	22.1	34	26.6
就職支援	42	37.5	57	29.1	26	24.3	39	28.7	32	25.0
公共交通の整備・充実	36	32.1	63	32.1	16	15.0	2	1.5	29	22.7
観光・交流の充実	26	23.2	32	16.3	19	17.8	34	25.0	25	19.5
安価な土地・住宅の提供	20	17.9	33	16.8	9	8.4	17	12.5	22	17.2
学校教育環境面の充実	14	12.5	17	8.7	19	17.8	22	16.2	20	15.6
自然環境の保全	16	14.3	27	13.8	16	15.0	2	1.5	19	14.8
防犯・防災の強化	11	9.8	23	11.7	1	0.9	14	10.3	17	13.3
公園・図書館等公共施設の充実	16	14.3	16	8.2	15	14.0	20	14.7	16	12.5
生涯学習・スポーツの振興	15	13.4	28	14.3	8	7.5	2	1.5	13	10.2
芸術・文化の振興	9	8.0	10	5.1	6	5.6	2	1.5	11	8.6
その他	1	0.9	5	2.6	1	0.9	2	1.5	6	4.7

※ 2017年：平成29年（2017年）8月15日の成人式アンケート調査結果（n=136）

2016年：平成28年（2016年）8月15日の成人式アンケート調査結果（n=107）

2015年：平成27年（2015年）8月15日の成人式アンケート調査結果（n=196）

2012年：平成24年（2014年）8月15日の成人式アンケート調査結果（n=112）



問8 胎内市で起業したいと思うか

◆ 起業の意思を有する人は1割未満。

- ・胎内市で起業したいという意思を有している人は7%だった。前回と比較すると3.3ポイント低下している。

【図表 3-22 起業の意思】

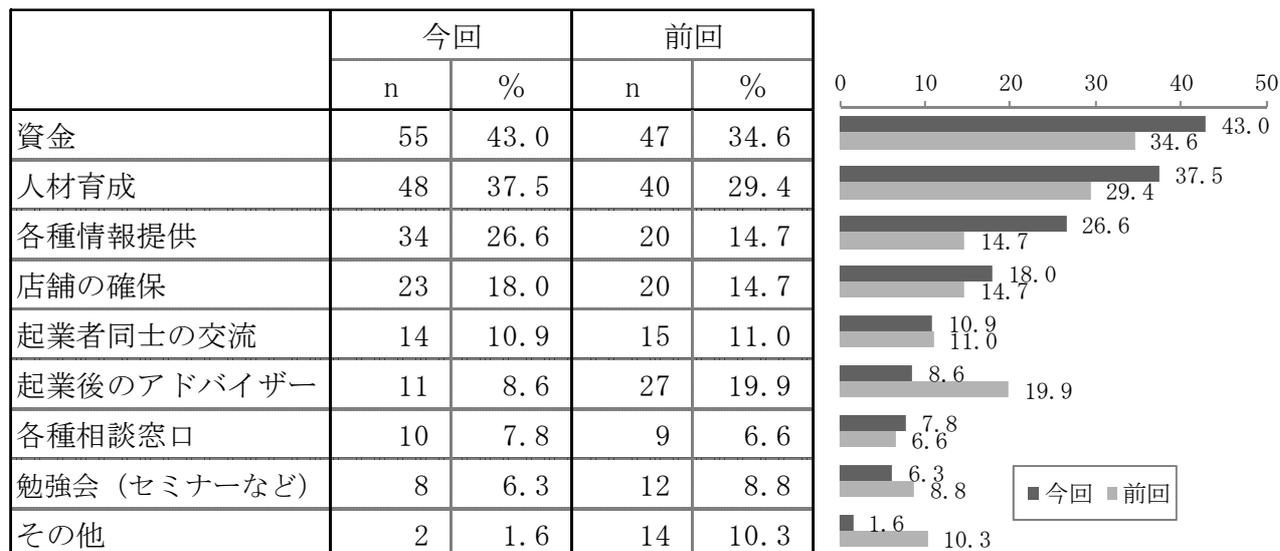


問9 起業するにはどのような支援が必要だと思うか

◆ 4割強が「資金」と回答。上位2項目は前回から順位変動なし。

- ・「資金」が43%と最も多く、「人材育成」37.5%、「各種情報提供」26.6%、「店舗の確保」18%、「起業者同士の交流」10.9%と続いた。
- ・前回ニーズの高かった「起業後のアドバイザー」は11.3ポイント低下し8.6%となった。

【図表 3-23 起業に必要な支援（複数回答）】

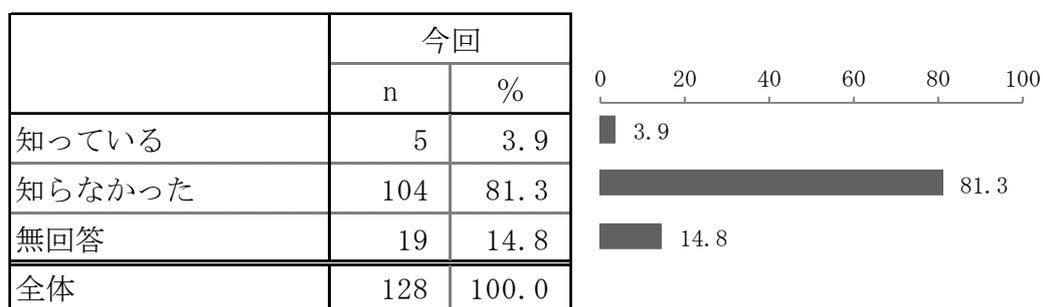


問10 定住促進を目的とした補助を知っているか

◆ 知っていたのは5%未満。

- ・「知っている」と回答したのは3.9%だった。
- ・「知っている」と回答した人の現在の居住地は、胎内市2人、新発田市1人、北海道1人、石川県1人で、市外在住者も認知していた。
- ・補助制度を知っている市外在住者の3人が25歳のときの居住地として示した場所は現在の居住地と変わらない結果となった。

【図表 3-24 定住促進補助制度の認知度】

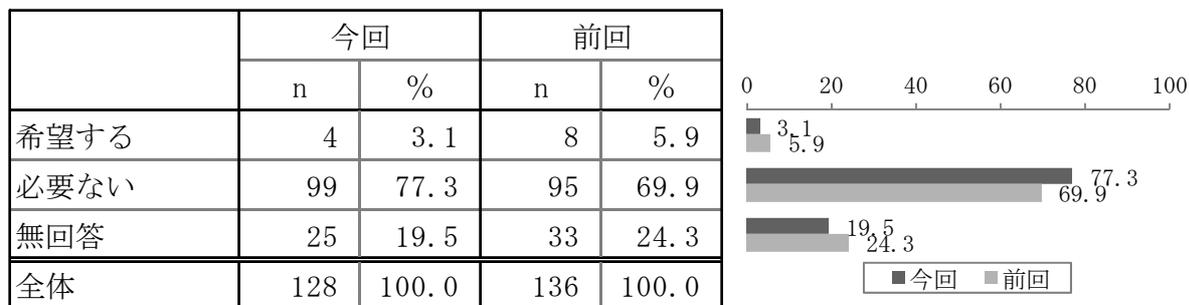


問11 地元就職に関する情報を胎内市から受け取りたいか

◆ 受取りを希望する人は5%未満。

- ・「希望する」と回答したのは3.1%、4人だった。
- ・「希望する」と回答した人は、全て大学在籍者であり、現在の居住地は、胎内市1人、上越市1人、首都圏2人という結果だった。
- ・上越市の1人は25歳のときの居住地として胎内市を選択していたことから、Uターンを希望する人たちに対してつながりをつくるキッカケになると思われる。

【図表 3-25 就職情報提供希望の有無】



3 資料

(1) 一般アンケート調査

問1 現在の胎内市は暮らしやすいまちだと思いますか？（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

問2 胎内市の暮らしやすい点はどんなところですか？（あてはまるもの全てに○）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 豊かな自然がある | 2. 余暇を楽しむ場が充実している |
| 3. 教育・文化施設が充実している | 4. 子育て支援サービスが充実している |
| 5. 医療・福祉サービスが充実している | 6. 価格や広さなどの住宅事情が良い |
| 7. 安全で落ち着いた住環境がある | 8. 公園や緑が充実している |
| 9. 上下水道等の社会基盤が整っている | 10. 生活に必要なお店等が揃っている |
| 11. 交通の利便性が良い（道路網等） | 12. 勤務地や学校が近い |
| 13. 商売や事業がしやすい | 14. 地域の行事や人間関係が豊か |
| 15. 特にない | 16. その他（ ） |

問3 胎内市の暮らしにくい点はどんなところですか？（あてはまるもの全てに○）

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 雪が降るなど気候が良くない | 2. 余暇を楽しむ場が不足している |
| 3. 教育・文化施設が不足している | 4. 子育て支援サービスが不足している |
| 5. 医療・福祉サービスが不足している | 6. 価格や広さなどの住宅事情が悪い |
| 7. 治安等の面で住環境に不安がある | 8. 公園や緑が不足している |
| 9. 上下水道等の社会基盤が不足している | 10. 生活に必要なお店等が不足している |
| 11. 交通の利便性が悪い（公共交通や渋滞等） | 12. 勤務地や学校が遠い |
| 13. 商売や事業がしにくい | 14. 地域の行事や人間関係が煩わしい |
| 15. 特にない | 16. その他（ ） |

問4 これからも胎内市に住み続けたいと思いますか？（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|---------------|-----------------|--------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 2. 当分は住み続けたい | 3. どちらとも言えない |
| 4. いずれ市外に移りたい | 5. すぐにでも市外に移りたい | |

問5 胎内市は子どもの教育環境が良いと思いますか？（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|------------|---------|--------------|
| 1. 良い | 2. やや良い | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり良くない | 5. 良くない | |

問6 胎内市は子育てしやすい環境が整っていると思いますか？（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|--------------|------------|--------------|
| 1. 整っている | 2. やや整っている | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり整っていない | 5. 整っていない | |

問7 胎内市が実施している子育て支援の取組※をご存じですか？（あてはまるもの1つに○）

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 良く知っている | 2. いくつかの内容は知っている |
| 3. 内容までは知らないが聞いたことはある | 4. 全く知らない |

※保育料の3人目以降無料化（一定収入以上は半額）、18歳までの医療費の負担軽減（外来自己負担額530円）、ファミリー・サポート・センター、病児・病後児保育、あかちゃんの駅、子育て包括支援センター「すくすく」 など

問8 胎内市は高齢者になっても安心して暮らし続けることができる環境が整っていると思いますか？（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|--------------|------------|--------------|
| 1. 整っている | 2. やや整っている | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり整っていない | 5. 整っていない | |

問9 あなた（または子どもなどあなたの家族）は胎内市内で就職したい（してほしい）ですか？（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|---------------|--------------|-------------------|
| 1. したい（してほしい） | 2. どちらとも言えない | 3. したくない（してほしくない） |
|---------------|--------------|-------------------|

問10 買い物など日常生活に不便を感じていますか？（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| 1. 不便である | 2. やや不便である | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり不便でない | 5. 不便でない | |

《問10で1または2に○をつけた方にお聞きします（その他の方は問12へお進みください）》

問11 どのような点で不便だと感じていますか？（あてはまるもの全てに○）

- | | |
|------------|-------------------|
| 1. 交通手段の確保 | 2. 生活に必要な店がない・少ない |
| 3. その他（ | ） |

問12 現在、市では以下の手段を使い市政に関する情報を発信していることを知っていますか？（それぞれについて1つに○）

市報	1. 知っている	2. 知らなかった
ホームページ	1. 知っている	2. 知らなかった
Eメール（防犯防災メール、子育て支援メール、婚活支援メール等）	1. 知っている	2. 知らなかった
Facebook（フェイスブック）	1. 知っている	2. 知らなかった
Twitter（ツイッター）	1. 知っている	2. 知らなかった
Instagram（インスタグラム）	1. 知っている	2. 知らなかった
You Tube（ユーチューブ）	1. 知っている	2. 知らなかった
CookPad（クックパッド）	1. 知っている	2. 知らなかった
ブログ	1. 知っている	2. 知らなかった

問13 今後、市政に関する情報提供をどのような形で行うのが良いと思いますか？（あてはまるものを3つまで選んで○）

- | | |
|-------------------|------------------------------|
| 1. 市報たいたいの活用 | 2. チラシやパンフレットの配布 |
| 3. 自治会の掲示板や回覧板の活用 | 4. テレビのデータ放送やラジオの活用 |
| 5. 市ホームページへの掲載 | 6. Eメールの活用（メーリングリスト等） |
| 7. 説明会等の開催 | 8. SNSの活用（Facebook、Twitter等） |
| 9. 特にない | 10. その他（ |
| | ） |

問6 あなたが住んでいる地区の「良いところ」はどんなところですか？（自由記述）

問7 あなたが住んでいる地区の「不安なところや困っているところ」はどんなところですか？
（自由記述）

問8 あなたの住んでいる地区がもっと住みよくなるには、どのようになればいいと思いますか？
（自由記述）

問9 問8を実現するためにあなたならどんなことをしますか。（自由記述）

どうもありがとうございました。

胎内市役所総合政策課企画政策係 電話：0254-43-6111（内線 1363）
福祉介護課地域福祉係 電話：0254-43-6111（内線 1138）

問 11 胎内市が選ばれ続けるまちであるためにはどのような施策が必要だと思いますか（該当する全てに○）				
1. 子育て環境の充実	2. 学校教育環境の充実	3. 医療・福祉の充実		
4. 就職支援	5. 商業のにぎわい創出	6. 公園・図書館等公共施設の充実		
7. 安価な土地・住宅の提供	8. 防犯・防災の強化	9. 観光・交流の推進		
10. 公共交通の整備・充実	11. 自然環境の保全	12. 芸術・文化の振興		
13. 生涯学習・スポーツの振興	14. その他（	）		
問 12 胎内市で起業（自分で会社や個人経営をはじめること）したいと思いませんか（1つに○）				
1. 思う	2. 思わない			
問 13 起業するにはどのような支援が必要だと思いますか（該当する全てに○）				
1. 各種情報提供	2. 人材育成	3. 店舗の確保	4. 資金	5. 起業者同士の交流
6. 起業後のアドバイザー	7. 各種相談窓口	8. 勉強会（セミナーなど）		
9. その他（	）			
問 14 市内の中小企業等に就職した際に、定住促進を目的とした補助（定額 25,000 円補助）の申請ができることを知っていますか（1つに○）				
1. 知っている	2. 知らなかった			
問 15 地元就職に関する情報を胎内市から受け取りたいですか				
<p>※情報提供の方法は郵送となりますが、メールアドレスをご記入いただいた場合はメルマガ方式での情報もお送りします。</p> <p>※地元就職に関する情報とは、募集情報や地元企業を知ることができるイベントの案内等です。</p>				
1. 受け取りたい	2. 必要ない			
<p>【本問で「1 受け取りたい」を選んだ方は、送付先（実家でも可）を下記にご記入ください。】</p> <p>（必須）氏名</p> <p>（必須）送付先郵便番号 〒 —</p> <p>（必須）送付先住所</p> <p>（任意）メールアドレス</p> <p>※こちらに記載していただいた情報は、就職支援に関する情報提供にのみ使用させていただきます。</p>				
問 16 その他、ご意見・ご要望などがあればご記入ください				

～ アンケートにご協力ありがとうございました。皆様のご活躍を期待しております。 ～